平成27年度

いの町男女共同参画社会に関する意識調査

— 調査結果報告書 —

いの町

目 次

Ι	調査の設計	1 -
Π	調査の見方	2 -
	D調査対象者の特性(グラフ)	3 -
(2)	②対象者の特性(表)	6 -
Ш	集 計 結 果 (解説・グラフ) (グラフ)	7)(数表)
1	.実生活における男女平等意識について8	39-
2	2.家庭での役割分担について9	41-
3	3.地域活動について10	43-
4	1.防災について 14	45-
5	5.職業生活について16	47-
6	3.男女共同参画の推進について24	52-
7	7.パートナー(配偶者、恋人)に対する暴力について28	55-
IV	集 計 結 果 (数表)	38 -
V		- 59 -

I 調査の設計

1. 調査の目的

この調査は、いの町の男女共同参画に関する行政を推進していく上での基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査事項

実生活での男女平等意識、家庭での役割分担、地域活動について、防災・災害復興対策について、職業生活について、男女共同参画の推進について、パートナー(配偶者、恋人)に対する暴力について

3. 調査の対象

いの町内20歳以上75歳以下で、伊野地区879人、吾北地区100人、本川地区21、計1000人を対象に調査した。

地域	配布数	回収数	回収率	地域	配布数	回収数	回収率
旧伊野地区内	242	96	39.7%	川内	78	23	29.5%
枝川	254	106	41.7%	神谷•中追•成山•小野	47	18	38.3%
ハ田	30	22	73.3%	三瀬	17	5	29.4%
池ノ内	16	3	18.8%	天王	195	84	43.1%
吾北地区	100	40	40.0%	地域名無回答	_	4	_
本川地区	21	10	47.6%				<u> </u>

4. 対象者の抽出

無作為抽出(抽出物件…住民基本台帳)

5. 調査方法

郵便法

6. 調査期間

平成 27年 12月4日~12月 15日までの 12日間

7. 実査及び集計・分析

いの町

8. 調査票配布数と回収状況

配布数 1000 票(男性 497 名、女性 503 名)

回収数411 票有効回収数411 票

Ⅱ 調査の見方

- 1. 解説は、数表に基づき要点のみを記述してあるので数表と合わせて参照すること。
- 2. グラフの N という記号は、数表のサンプル総合数(有効調査総数)を示し、比率(%)算出の基礎となっている。
- 3. 数表に記入してある数値は、各回答項目に対する回答率である。

なお、「総合」については、回答人数も合わせて記載した。

4. 質問項目への回答は、1 つを選択、2 つまで選択、3 つまで選択、いくつでも選択などの方法を採用している。したがって、複数回答の質問は、比率を合計すると 100%以上になる。

また、構成比率算出の場合は、四捨五入の関係上 100%になっていない場合もある。

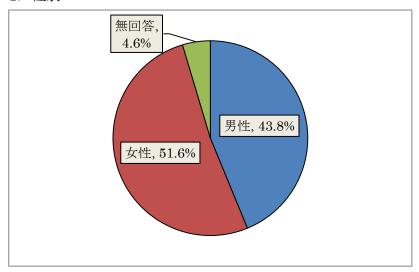
- 5. 副問については、該当者数で回答率を算出している。
- 6. 各質問に対する集計は、対象者の特性及び回答者別で分析した。
 - (1) 性別………男性、女性
 - (2) 年代別 ……20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代
 - (3) 職業別·······農林漁業、商工サービス業自営、常勤職(正社員、正職員)、非常勤(臨時、パート、アルバイトなど)、その他の有職(医師、弁護士、僧侶など)、専業主婦・

主夫、無職(年金生活者など)、その他

- (4)配偶者の有無及び共働き別……いる、いない、共働き、共働きでない
- (5) 地域別…………旧伊野町内、枝川・天王、その他の地域、吾北地区、本川地区
- (6)世帯構成別………単身世帯、夫婦のみ、親子、3世代以上同居、その他
- (7) 同居の家族別…………乳幼児がいる、高齢者がいる、両方いる、該当する者がいない

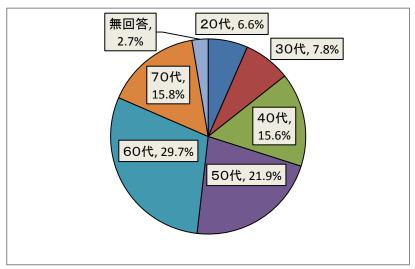
①調査対象者の特性(グラフ)

1. 性別



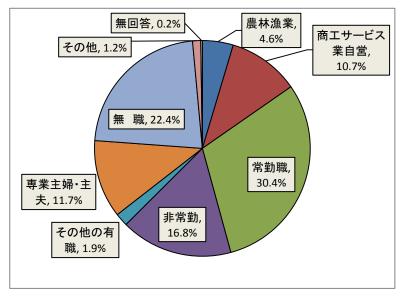
区分	回答数(人)	構成比(%)
男性	180	43.8%
女性	212	51.6%
無回答	19	4.6%
合計	411	100.0%

2. 年代別



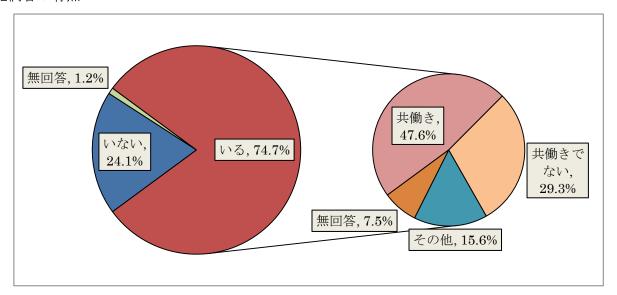
区分	回答数(人)	構成比(%)
20代	27	6.6%
30代	32	7.8%
40代	64	15.6%
50代	90	21.9%
60代	122	29.7%
70代	65	15.8%
無回答	11	2.7%
合計	411	100.0%

3. 職業別



区分	回答数(人)	構成比(%)
農林漁業	19	4.6%
商エサービス業自営	44	10.7%
常勤職	125	30.4%
非常勤	69	16.8%
その他の有職	8	1.9%
専業主婦・主夫	48	11.7%
無職	92	22.4%
その他	5	1.2%
無回答	1	0.2%
合計	411	100.0%

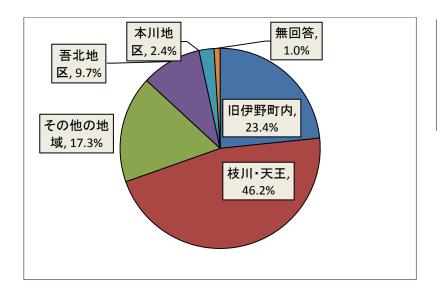
4. 配偶者の有無



区分	回答数(人)	構成比(%)
いる	307	74.7%
いない	99	24.1%
無回答	5	1.2%
合計	411	100.0%

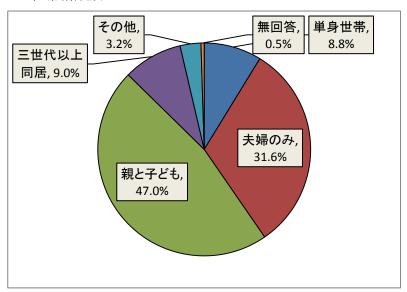
区分	回答数(人)	構成比(%)
共働き	146	47.6%
共働きでない	90	29.3%
その他	48	15.6%
無回答	23	7.5%
総合	307	100.0%

5. 地域別



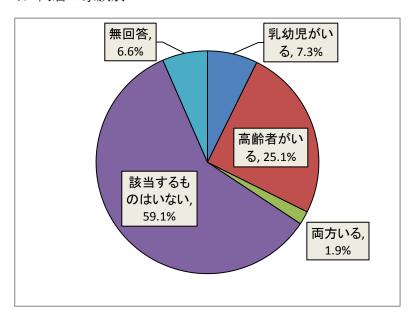
区分	回答数(人)	構成比(%)
旧伊野町内	96	23.4%
枝川•天王	190	46.2%
その他の地域	71	17.3%
吾北地区	40	9.7%
本川地区	10	2.4%
無回答	4	1.0%
合計	411	100.0%

6. 世帯構成別



区分	回答数(人)	構成比(%)
単身世帯	36	8.8%
夫婦のみ	130	31.6%
親と子ども	193	47.0%
三世代以上同居	37	9.0%
その他	13	3.2%
無回答	2	0.5%
合計	411	100.0%

7. 同居の家族別



区分	回答数(人)	構成比(%)
乳幼児がいる	30	7.3%
高齢者がいる	103	25.1%
両方いる	8	1.9%
該当するものはいない	243	59.1%
無回答	27	6.6%
合計	411	100.0%

	^	実数	割合(%)
総合		411	100%
	男性	180	43.8%
性別	女性	212	51.6%
	無回答	19	4.6%
	20 代	27	6.6%
	30 代	32	7.8%
	40 代	64	15.6%
年代別	50 代	90	21.9%
	60代	122	29.7%
	70 代	65	15.8%
	無回答	11	2.7%
	農林漁業	19	4.6%
	商エサービス業自営	44	10.7%
	常勤職	125	30.4%
	非常勤	69	16.8%
職業別	その他の有職	8	1.9%
	専業主婦·主夫	48	11.7%
	無職	92	22.4%
	その他	5	1.2%
	無回答	1	0.2%
	いる	307	74.7%
	共働き	146	47.6%
	共働きでない	90	29.3%
配偶者の有無別	その他	48	15.6%
	無回答	23	7.5%
	なし	99	24.1%
	無回答	5	1.2%
	旧伊野町内	96	23.4%
	枝川、天王	190	46.2%
1 de 1=# C1 d	その他の伊野地区	71	17.3%
地域別	吾北地区	40	9.7%
	本川地区	10	2.4%
	無回答	4	1.0%
	単身世帯	36	8.8%
	夫婦のみ	130	31.6%
######	親と子供	193	47.0%
世帯構成別	3 世代以上同居	37	9.0%
	その他	13	3.2%
	無回答	2	0.5%
	乳幼児がいる	30	7.3%
	高齢者がいる	103	25.1%
同居の家族別	両方いる	8	1.9%
	該当するものはいない	243	59.1%
	無回答	27	6.6%

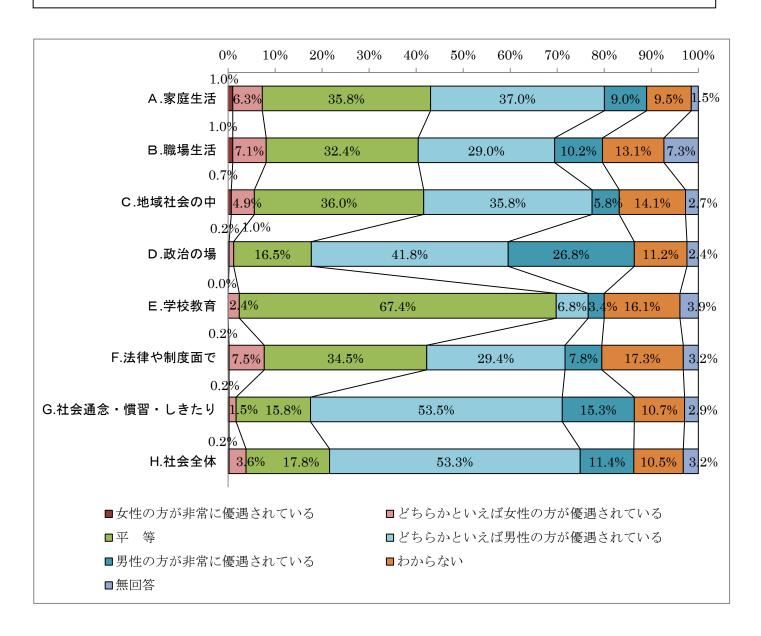
Ⅲ 集計結果

〔解説・グラフ〕

1. 実生活における男女平等意識について

問1

あなたは次の分野において男女が平等であると思いますか。A~H の項目ごとに、あなたのお気持ちに最も近いと思われる番号に1つだけ選んで○印をつけてください。



実生活における男女平等意識としては、ほぼすべての分野において、男性優遇(どちらかといえば男性優遇、と男性の方が非常に優遇、の値の合計)と答えた回答者が多数を占めている。特に「政治の場」「社会通念・慣習・しきたり」、そして「社会全体」の項目において顕著であり、60%を超える割合を占めている。

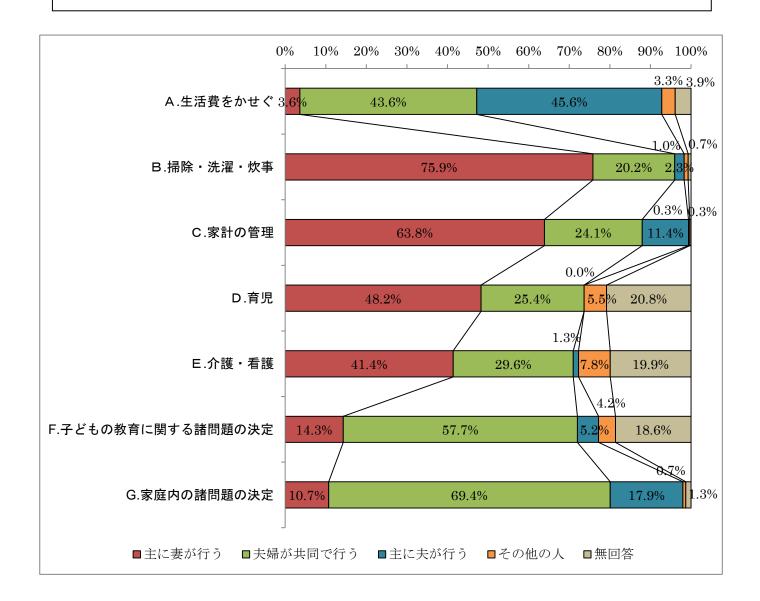
唯一「学校教育」の分野においては、平等であると答えた割合が 67.4%と、最も大きな割合となっている。

また、「職場生活」「地域社会の中」「法律や制度面」の分野に関しては、平等と男性優遇がほぼ同程度という結果となっている。

2. 家庭での役割分担について

間 2

あなたのご家庭では、次の役割を主にどなたがしていますか。 $A\sim G$ の項目ごとに一つだけ選んで \bigcirc 印をつけてください。



家庭での役割分担については、「掃除・洗濯・炊事」「家計の管理」の項目において、妻が主に行っている、と答えた割合が特に高くなっている。さらに、「育児」「介護・看護」の項目においても、主に夫が行う、と答えた割合が極端に低く、育児や介護の対象者の居る家庭においては、先に述べた 2 項目と同様高い割合で妻が主体となり行っていると考えられる。

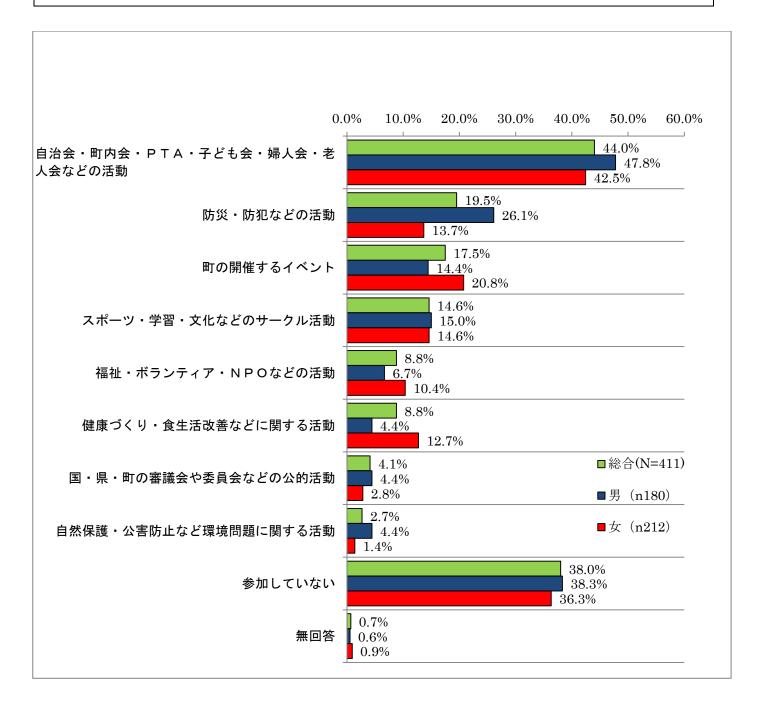
「生活費をかせぐ」項目に関しては、主に夫が行う、と回答した人の割合が 45.6%と最も多く、次いで夫婦が共同で行う、と回答した人の割合が 43.6%と同程度の割合を占めている。

「子どもの教育に関する諸問題の決定」「家庭内の諸問題の決定」の項目においては、両項目共に夫婦 共同で行う、と回答した人の割合が最も高い。

3. 地域活動について

問 3

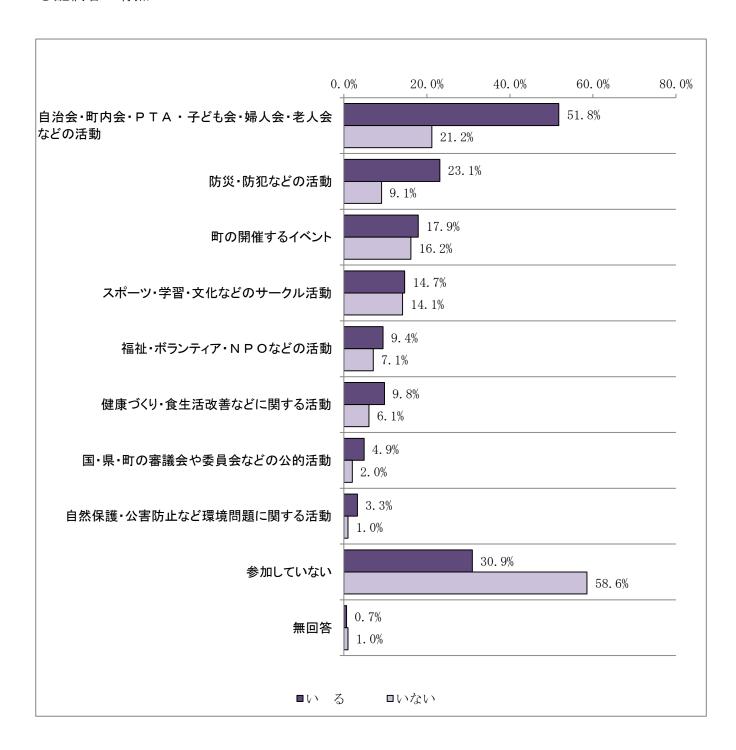
あなたは次のような地域活動に参加していますか。(複数可)



参加している地域活動に関しては、「自治会・町内会・PTA・子ども会・婦人会・老人会などの活動」に参加しているとの回答が最多(44.0%)となっており、次いで「防災・防犯などの活動」(19.5%)「町の開催するイベント」(17.5%)と続いている。

また、特に男女間の回答に差が見られた項目としては、「防災・防犯などの活動」の項目が男性が多く、「健康づくり・食生活改善などに関する活動」の項目では女性の回答者が多く見られる結果となった。

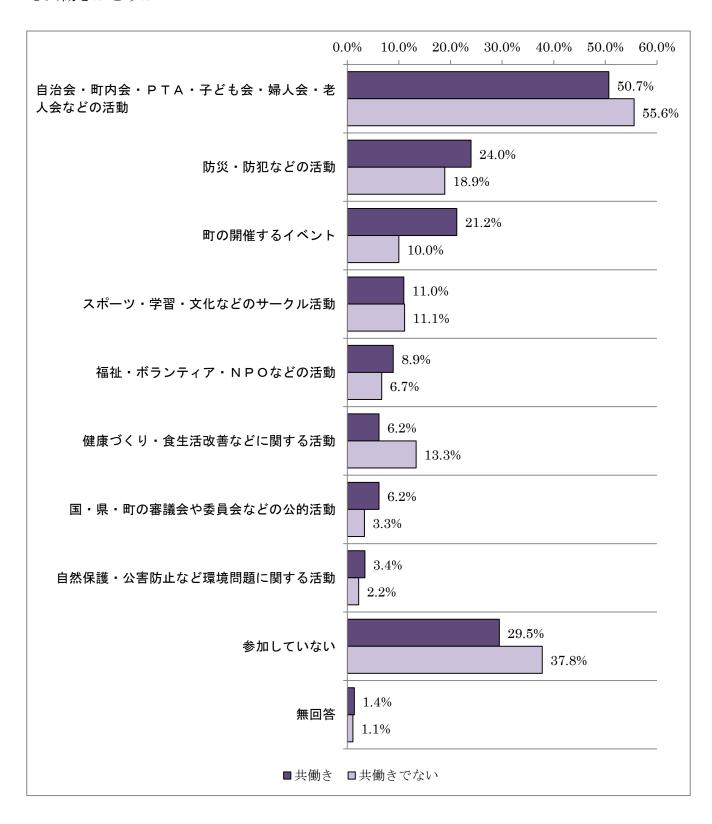
どれにも参加していない、という回答は全体で 38.0%であり、こちらは男女間の割合の差はほとんど 見られなかった。



また、問3に関して配偶者の有無で回答を選別すると、「参加していない」と回答した回答者の割合に大きな差が見られた。配偶者がいる、と答えたグループが「参加していない」と回答した割合は30.9%なのに対し、いない、と答えたグループが「参加していない」と回答した割合は58.6%と、二倍近い差ができており、配偶者の有無で、地域活動への参加に対し大きな意識の差があることが分かる。

項目別では、「自治会・町内会・PTA・子ども会・婦人会・老人会などの活動」において配偶者がいる、と答えたグループが 51.8%、いないと答えたグループが 21.2%、「防災・防犯などの活動」の項目においては配偶者がいる、と答えたグループが 23.1%、いないと答えたグループが 9.1%となっており、共に二倍以上の差が開く結果となっている。

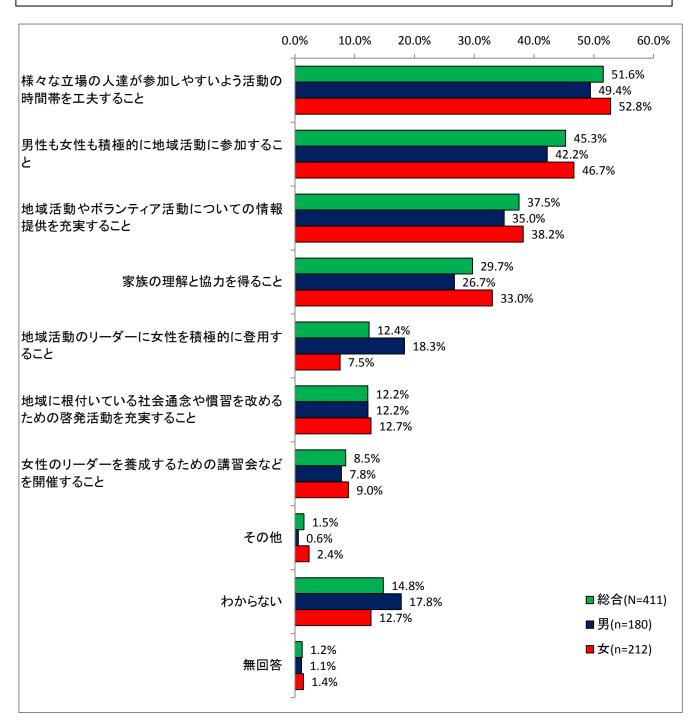
○共働きかどうか



さらに、配偶者がいる、と答えたグループから共働きかどうかで分けたものが上のグラフである。

「参加していない」と答えた割合は、共働きでないグループの方が高くなっている。他に顕著な差異が見られるものは、「町の開催するイベント」では共働きのグループが、「健康づくり・食生活改善などに関する活動」では共働きでないグループの参加割合が高いという結果となった。

問4 あなたの住んでいる地域での様々な活動において、男女共同参画を積極的に進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○印3つまで)



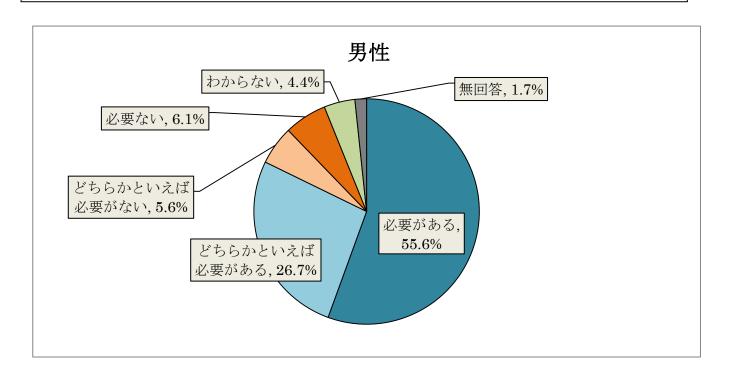
男女共同参画を進めるために必要とされているものについては、「様々な立場の人達が参加しやすいよう活動の時間帯を工夫すること」が一番割合が高く、51.6%となっている。次いで「男性も女性も積極的に地域活動に参加すること」の 45.3%、「地域活動やボランティア活動についての情報提供を充実すること」の 37.5%、「家族の理解と協力を得ること」の 29.7%の順に高い割合となっている。

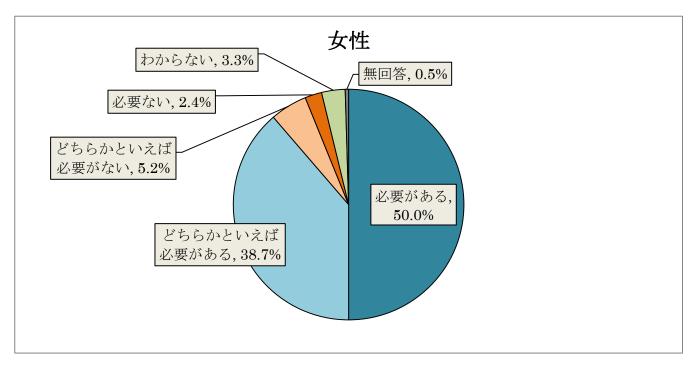
全体的に男女間では、大きく回答に差は見られないが、「地域活動のリーダーに女性を積極的に登用すること」の項目で、男性が 18.3%、女性が 7.5%と男性が多く、その他の項目に関してはやや女性の割合が高い、という差異が見られる。

4. 防災について

問 5

防災、災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。





防災、災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要かどうかの質問では、男性、女性共に、「必要がある」「どちらかといえば必要がある」と答えた割合が80%を超え(男性82.3%、女性88.7%)、性別に配慮した対応が強く求められているといえる。

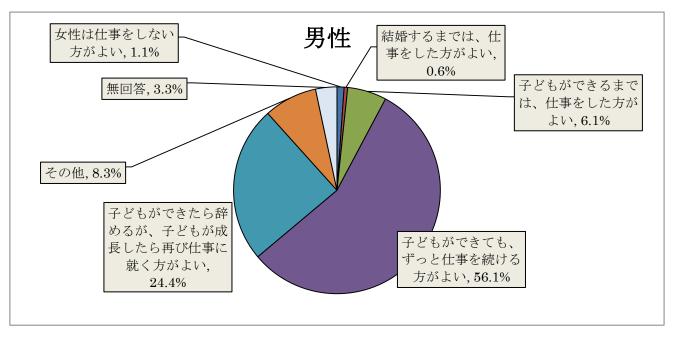
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 78.6% 避難所の設備(男女トイレ・更衣室・防犯対策等) 76.4% 80.3% 33.7% 災害時の救援医療体制(乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦への 30.4% サポート体制) 36.2% 33.4% 避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や 39.9% 被災者対応に男女両方の視点が入ること 29.3% 11.7% 災害復旧・復興対策計画に男女がともに参画し、計画に男女両 15.5% 方の視点が入ること 9.0% 11.4% 防災会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点 11.5% が入ること 10.6% 10.6% 災害対策本部に男女がともに配置され、対策に男女両方の視 10.1% 点が入ること 11.7% 9.1% 公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮 6.8% 11.2% 5.4% 被災者に対する相談体制 4.1% 5.9% 0.3% 無回答 0.0% 0.0% 0.0% その他 0.0% 0.0% ■総合(n350) ■男(n148) ■女(n188)

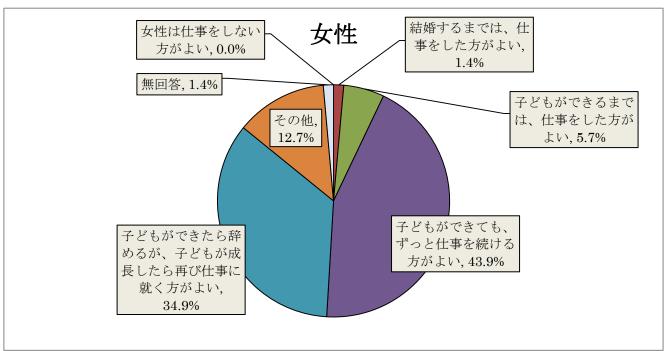
問5の質問に関連して、具体的な対応策については、「避難所の設備(男女トイレ・更衣室・防犯対策等)」の項目の割合が一番高く、78.6%となった。続く「災害時の救援医療体制(乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制)」と「避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」は、共に33%前後の割合となったが、女性は前者の割合が高く、男性は後者の割合が上回った。

以降は「災害復旧・復興対策計画に男女がともに参画し、計画に男女両方の視点が入ること」(11.7%)「防災会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること」(11.4%)「災害対策本部に男女がともに配置され、対策に男女両方の視点が入ること」(10.6%)「公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮」(9.1%)「被災者に対する相談体制」(5.4%)が続いている。

5. 職業生活について

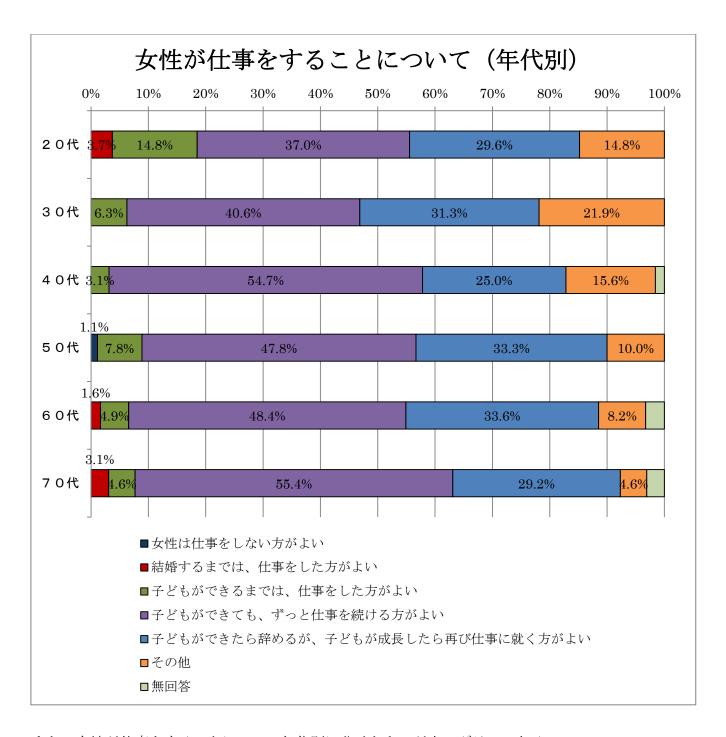
問 7 女性が仕事をする(会社などで働く)ことについて、どのように思いますか。





女性が会社などで仕事をすることについての問いでは、男女共に「子どもができても、ずっと仕事を 続ける方がよい」の回答の割合が一番高い。

しかし、女性は男性に比べ「子どもができたら辞めるが、子どもが成長したら再び仕事に就く方がよい」の割合が高く、子どもが小さいうちは、育児に注力したいと考える人が多いと考えられる。

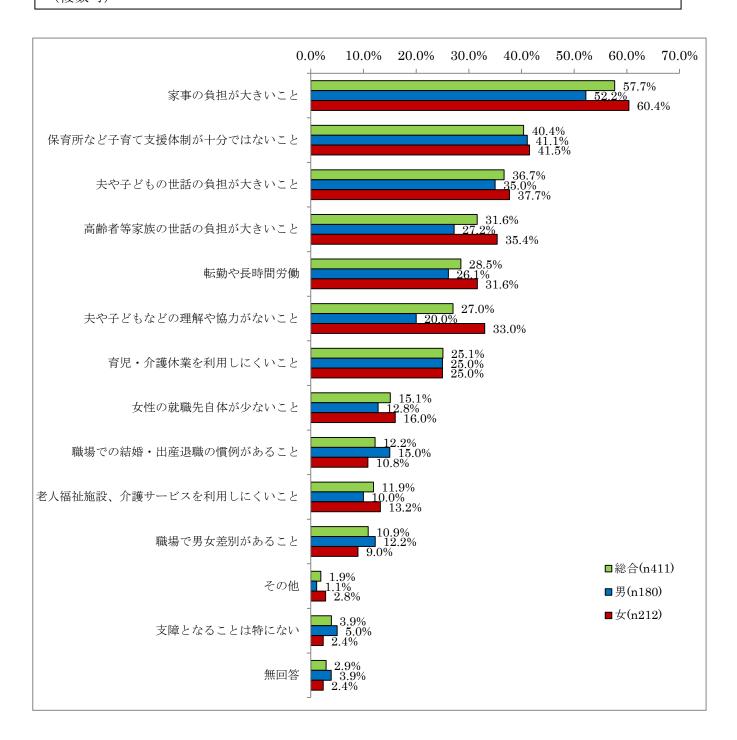


また、女性が仕事をすることについて年代別に分けたものが上のグラフである。

全体的な回答分布に大きな違いは見られないが、20代~30代において、「子どもができてもずっと仕事を続ける方がよい」の回答割合が他の世代と比べて若干低く、若い世代において、育児と仕事の両立は難しいと考えている傾向がある。

問8

あなたは、女性が仕事と家庭を両立する上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。 (複数可)

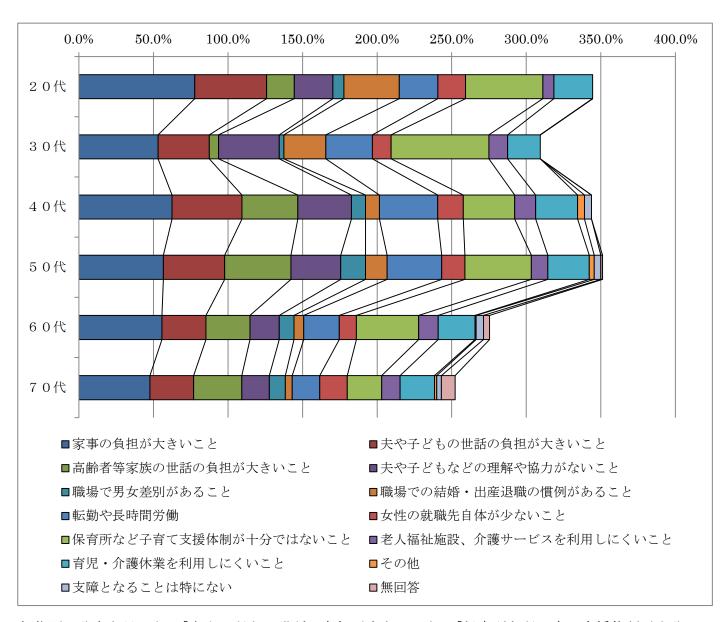


女性の仕事と家庭の両立において支障となるものは、まず「家事の負担が大きいこと」が 57.7%で最 も高い割合となっている。

さらに、「保育所など子育て支援体制が十分ではないこと」(40.4%)「夫や子どもの世話の負担が大きいこと」(36.7%)「高齢者等家族の世話の負担が大きいこと」(31.6%)などの育児、介護等による負担が続き、「転勤や長時間労働」(28.5%)「夫や子どもなどの理解や協力がないこと」(27.0%)「育児・介護休業を利用しにくいこと」(25.1%)以下へと続く。

全体的に女性の割合が高い傾向にあるが、特に「夫や子どもなどの理解や協力がないこと」の項目の 差が大きい。(13.0%差)

Q8	20代	30代	40代	50代	60代	70代	無回答
家事の負担が大きいこと	77.8%	53.1%	62.5%	56.7%	55.7%	47.7%	81.8%
夫や子どもの世話の負担が大きいこと	48.1%	34.4%	46.9%	41.1%	29.5%	29.2%	45.5%
高齢者等家族の世話の負担が大きいこと	18.5%	6.3%	37.5%	44.4%	29.5%	32.3%	18.2%
夫や子どもなどの理解や協力がないこと	25.9%	40.6%	35.9%	33.3%	19.7%	18.5%	18.2%
職場で男女差別があること	7.4%	3.1%	9.4%	16.7%	9.8%	10.8%	18.2%
職場での結婚・出産退職の慣例があること	37.0%	28.1%	9.4%	14.4%	6.6%	4.6%	9.1%
転勤や長時間労働	25.9%	31.3%	39.1%	36.7%	23.8%	18.5%	9.1%
女性の就職先自体が少ないこと	18.5%	12.5%	17.2%	15.6%	11.5%	18.5%	18.2%
保育所など子育て支援体制が十分ではないこと	51.9%	65.6%	34.4%	44.4%	41.8%	23.1%	27.3%
老人福祉施設、介護サービスを利用しにくいこと	7.4%	12.5%	14.1%	11.1%	13.1%	12.3%	0.0%
育児・介護休業を利用しにくいこと	25.9%	21.9%	28.1%	27.8%	24.6%	23.1%	9.1%
その他	0.0%	0.0%	4.7%	3.3%	0.8%	1.5%	0.0%
支障となることは特にない	0.0%	0.0%	4.7%	4.4%	4.9%	3.1%	9.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	4.1%	9.2%	0.0%

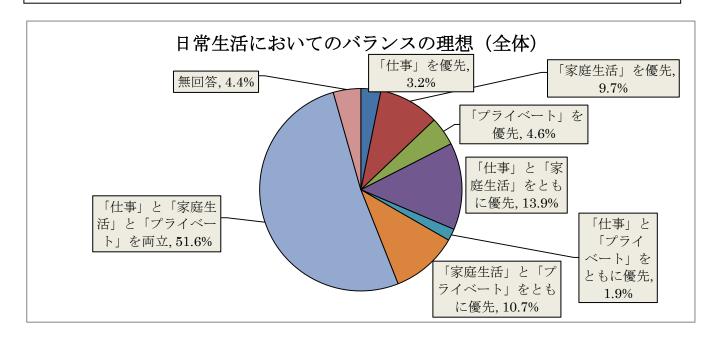


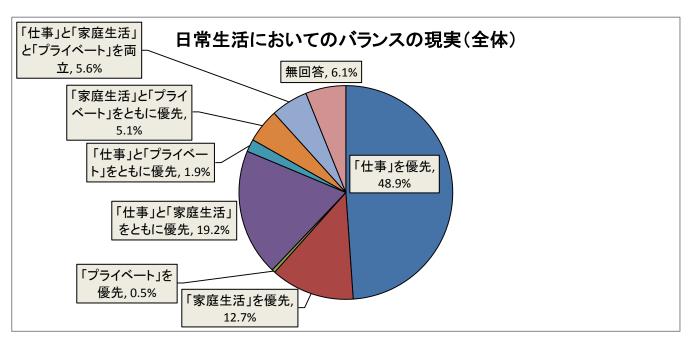
年代別の分布を見ると、「夫や子どもの世話の負担が大きいこと」「保育所など子育て支援体制が十分ではないこと」などの、育児が関わる項目は若い世代の割合が高く、「高齢者等家族の世話の負担が大きいこと」の項目は、両親や配偶者が高齢となる40代以降の割合が高くなっていることが分かる。

問 9

日常生活における、「仕事」「家庭生活」「プライベート(趣味や学習・地域活動・付き合いなど)」 のバランスについて、優先度をお答えください。

理想は現実は現実は



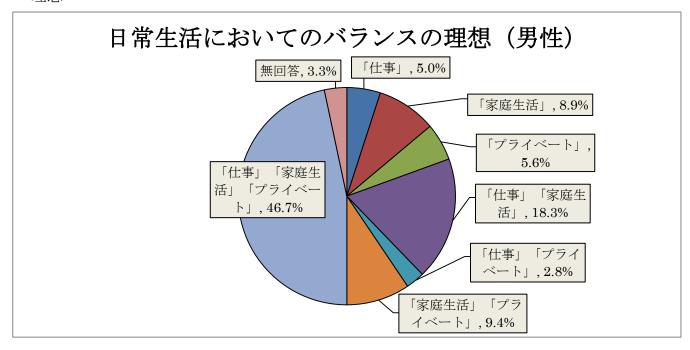


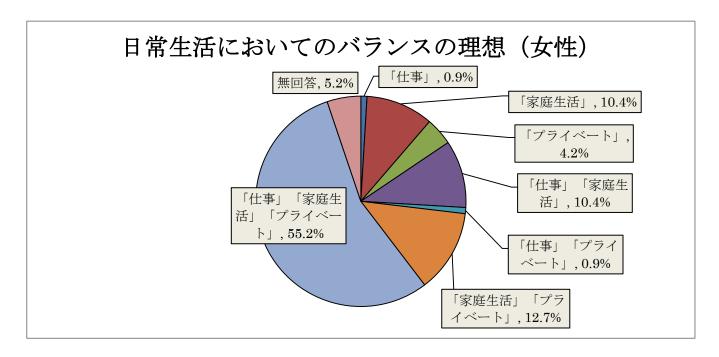
日常生活における仕事と家庭とプライベートのバランスは、理想としては約半数の回答者 (51.6%) が、「仕事と家庭生活とプライベートを両立」と回答したのに対し、現実は、半数弱となる 48.9%の回答者 が「仕事を優先」の回答となっている。

特にプライベートに関する項目において、理想と現実の差が大きいことが分かる。

○男女別

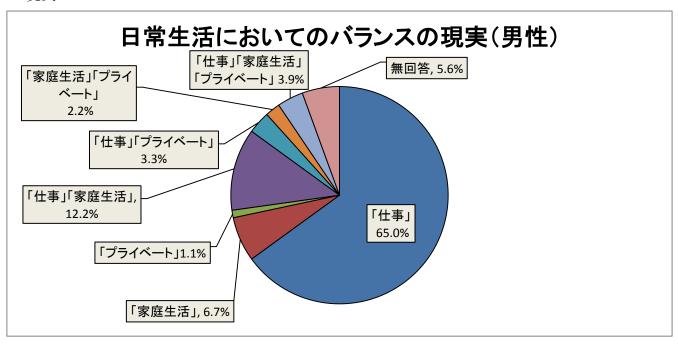
理想

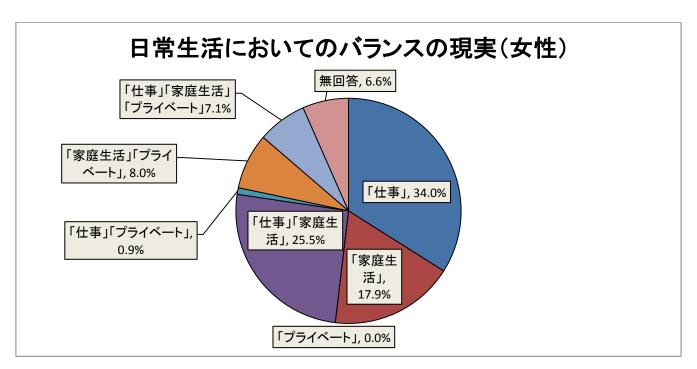




日常生活においてのバランスの理想について男女別にみると、男性が「仕事と家庭生活を優先」の回答の割合が高く、女性が「仕事と家庭生活とプライベートを両立」の割合が少し高くなっているが、全体的な回答分布に大きな差異は見られない。

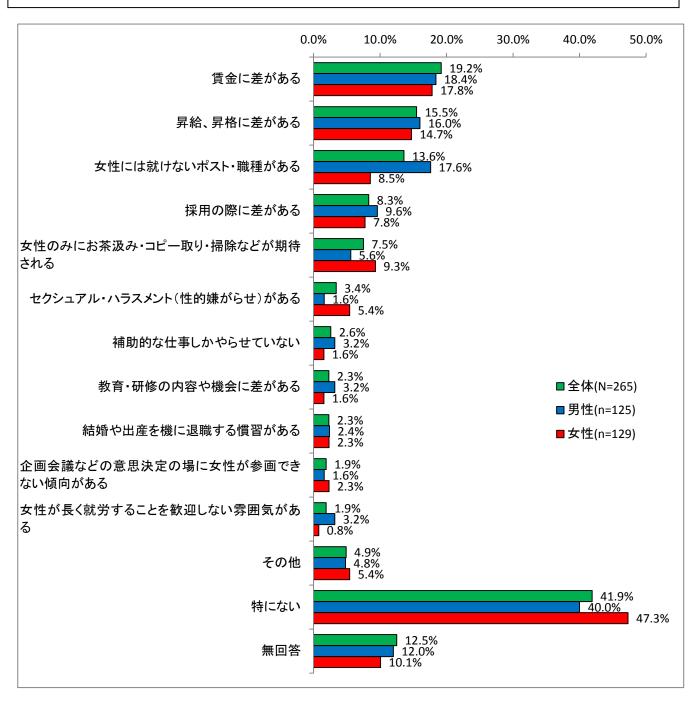
• 現実





日常生活におけるバランスの現実では、男性は「仕事を優先」の回答が 65.0%と多数を占めている。 女性では、「仕事を優先」の回答が男性に比べ低い代わりに、「家庭生活を優先」「仕事と家庭生活をと もに優先」の割合が高く、男性に比べると家庭生活に大きなウェイトを置いている回答者が多いという 結果が出た。

問 10 あなたの職場では、男性と比べて女性に対し、仕事の内容や待遇面で次のようなことがあると思いますか。(複数可)



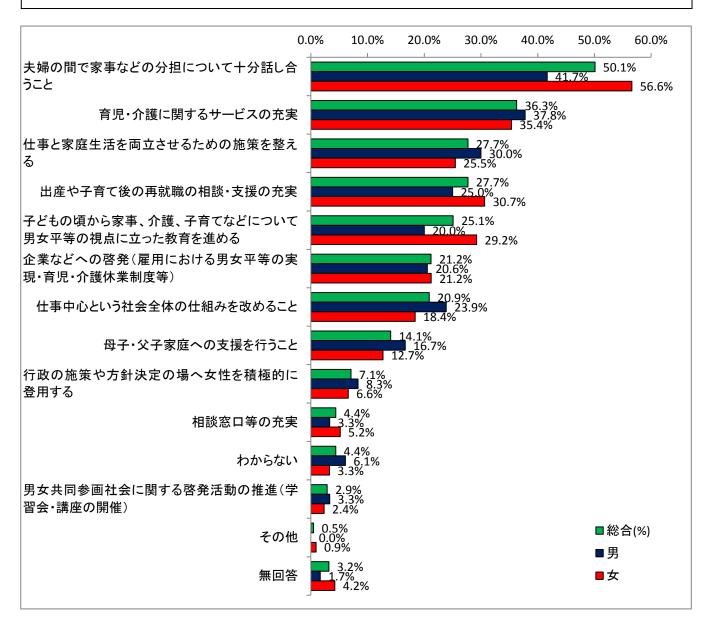
現在働いている回答者を対象に、現状の職場での男女の待遇の差を問う質問においては、全体で41.9%が「特に無い」と回答し、最も高い割合となった。

待遇差を感じるとする回答の中で一番高い割合となったのは「賃金に差がある」で、全体で 19.2%となっている。また、「昇給、昇格に差がある」が 15.5%、「女性には就けないポスト、職種がある」が 13.6% で、10%を超える割合となっている。

男女別で見てみると、「女性には就けないポスト、職種がある」が男性 17.6%女性 8.5%と男性が多い。他には、「女性のみにお茶汲み、コピー取り、掃除などが期待される」が女性 9.3%男性 5.6%、「セクシュアル・ハラスメント (性的嫌がらせ) がある」が女性 5.4%男性 1.6%と、若干の差が見られる。

6. 男女共同参画の推進について

問 11 男女が共に仕事と家庭を両立させていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○印3つまで)

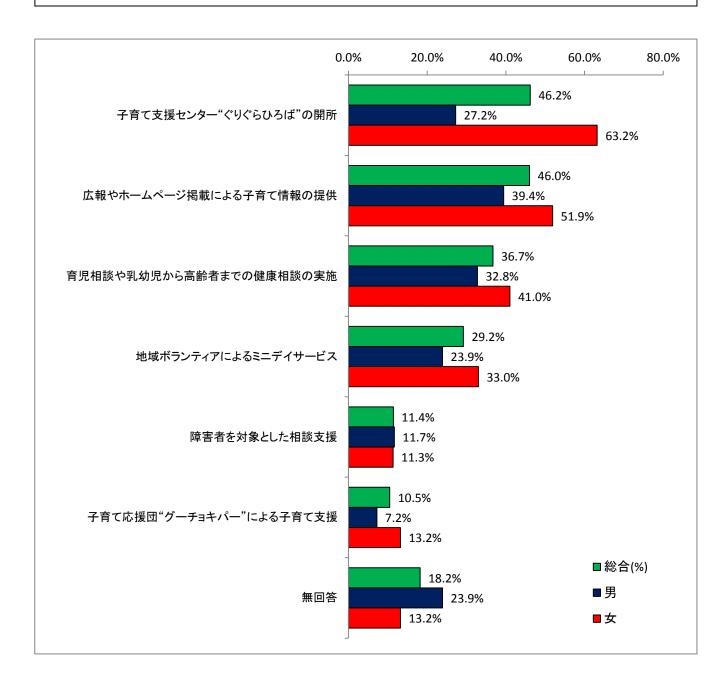


男女が共に仕事と家庭を両立するために必要なことについては「夫婦の間で家事などの分担について十分話し合うこと」が50.1%で一番高い割合となり、「育児、介護に関するサービスの充実」が36.3%で続く。また、それに続く「仕事と家庭生活を両立させるための施策を整える」と「出産や子育て後の再就職の相談・支援の充実」は、共に全体では27.7%と同じ数値であったが、前者は男性の割合が高く、後者は女性の割合が高くなっている。以下「子どもの頃から家事、介護、子育てなどについて男女平等の視点に立った教育を進める」が25.1%、「企業などへの啓発(雇用における男女平等の実現・育児・介護休業制度等)」が21.2%、「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」が20.9%と、20%を超える割合となっている。

男女による差異は、先に述べた二つを除くと「夫婦の間で家事などの分担について十分話し合うこと」「子どもの頃から家事、介護、子育てなどについて男女平等の視点に立った教育を進める」の項目で女性の割合が高い。

問 12

育児・介護等の負担を地域社会全体として支援していくため町や地域がおこなっている取組について知っているものに○印をつけてください。(複数可)

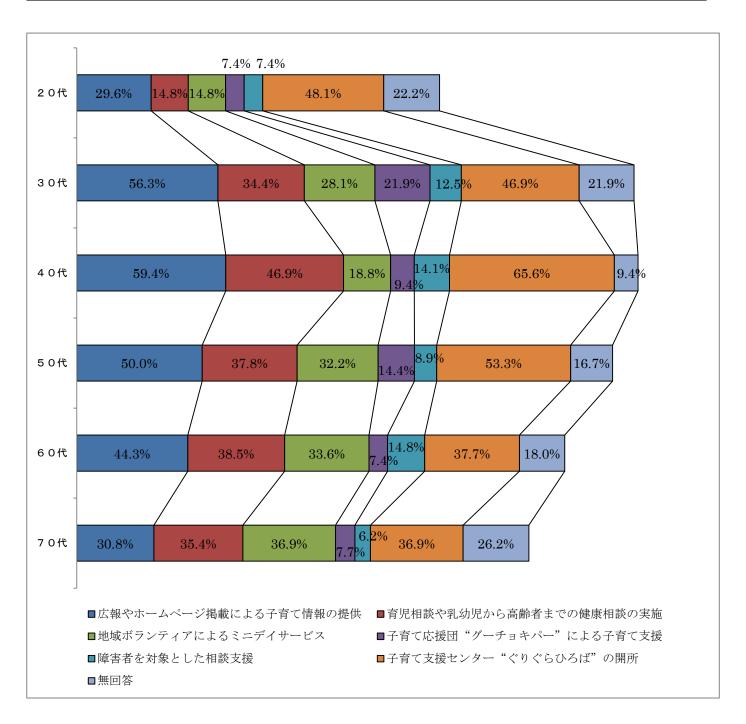


地域の取り組みの周知度では、「子育て支援センター "ぐりぐらひろば"の開所」が 46.2%と高い割合となっている。この問いでは全体的に女性の周知度が高い傾向にあるが、特にこの項目に関しては、女性 63.2%、男性 27.2%と 36.0%の開きが見られる。以下は「広報やホームページ掲載による子育て情報の提供」が 46.0%、「育児相談や乳幼児から高齢者までの健康相談の実施」が 36.7%、「地域ボランティアによるミニデイサービス」が 29.2%、「障害者を対象とした相談支援」が 11.4%、「子育て応援団 "グーチョキパー"による子育て支援」が 10.5%となっている。

男性の無回答では23.9%と多く、男性の関心度の低さが見られる。

○年代別

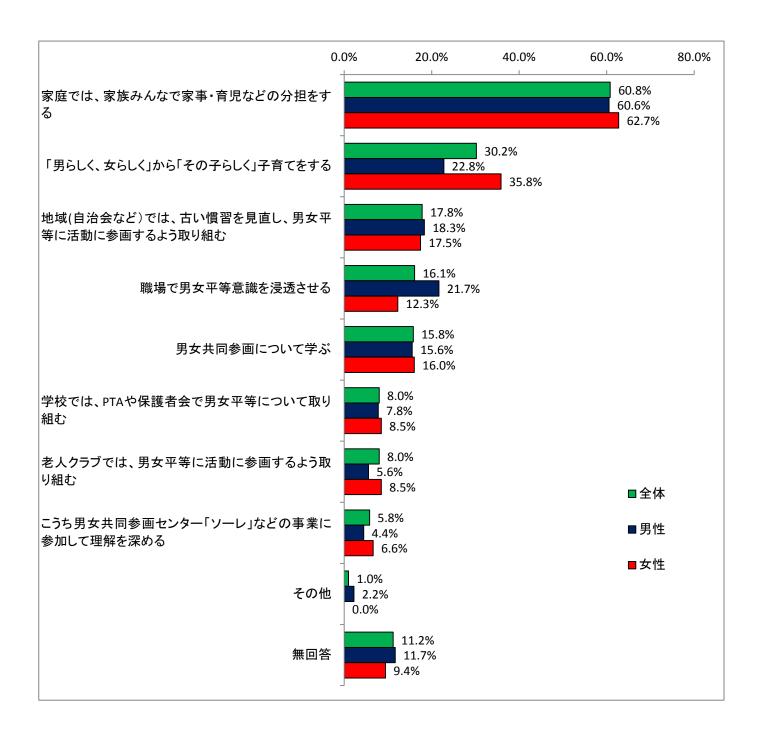
Q12	20代	30代	40代	50代	60代	70代	無回答
広報やホームページ掲載による子育て情報の提供	29.6%	56.3%	59.4%	50.0%	44.3%	30.8%	54.5%
育児相談や乳幼児から高齢者までの健康相談の実施	14.8%	34.4%	46.9%	37.8%	38.5%	35.4%	18.2%
地域ボランティアによるミニデイサービス	14.8%	28.1%	18.8%	32.2%	33.6%	36.9%	9.1%
子育て応援団"グーチョキパー"による子育て支援	7.4%	21.9%	9.4%	14.4%	7.4%	7.7%	9.1%
障害者を対象とした相談支援	7.4%	12.5%	14.1%	8.9%	14.8%	6.2%	18.2%
子育て支援センター"ぐりぐらひろば"の開所	48.1%	46.9%	65.6%	53.3%	37.7%	36.9%	18.2%
無回答	22.2%	21.9%	9.4%	16.7%	18.0%	26.2%	18.2%



年代別に分布を見ると、全体的に 20 代の周知度が低く、30~50 代にかけて高い状態となっている。 70 代の回答割合も概ね低めであるが、「地域ボランティアによるミニデイサービス」の項目は年代が上がると割合が上がり、70 代で最高となる。

間 13

男女共同参画は、私達一人ひとりの身近な課題です。まず自分にできることから始めることが大切ですが、あなたは何ができますか。次の中でできると思うものに〇印をつけてください。(複数可)



男女共同参画を進めるためにできることについては、「家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする」の項目が 60.8%で最も高く、次いで「「男らしく、女らしく」から「その子らしく」子育てをする」の 30.2%で、家庭での身近な取り組みの項目が高い割合となっている。

続いて「地域(自治会など)では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう取り組む」(17.8%)や、「職場で男女平等意識を浸透させる」(16.1%)、「男女共同参画について学ぶ」(15.8%)が 15%前後で続いている。

男女別では、「「男らしく、女らしく」から「その子らしく」子育てをする」が女性、「職場で男女平等 意識を浸透させる」が男性の割合がそれぞれ高い。

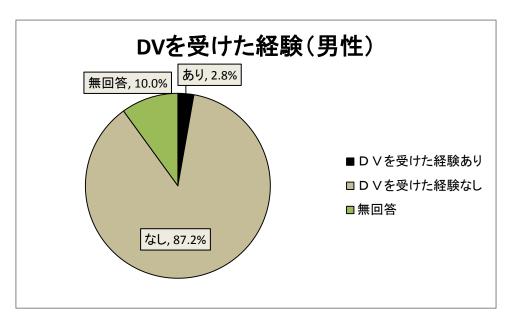
7. パートナー(配偶者、恋人)に対する暴力について

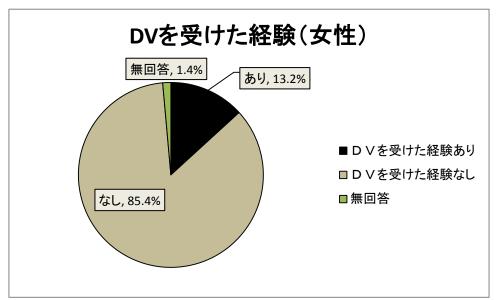
問 14

あなたは、ドメスティック・バイオレンス(DV:配偶者や恋人など親密な関係にあるパートナーからの暴力)について、経験したことはありますか。

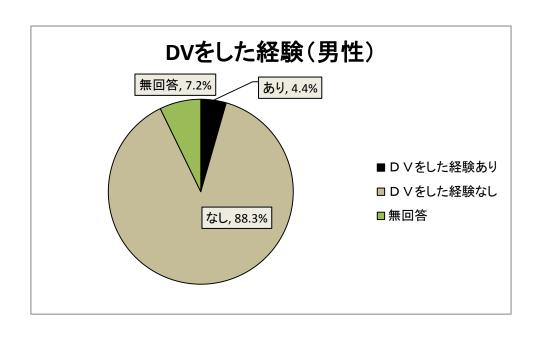
DV を受けたこと・・・①経験あり ②経験なし

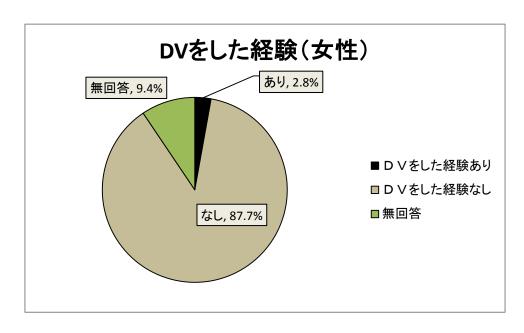
DV をしたこと・・・・①経験あり ②経験なし





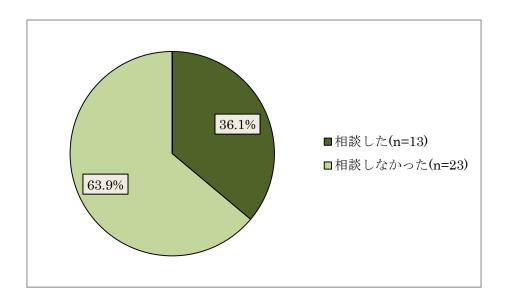
DV を受けた経験の質問では、男女共に85%以上の回答者が「なし」と回答した。「あり」と答えた割合は男性2.8%、女性13.2%となり、女性の割合が高い。



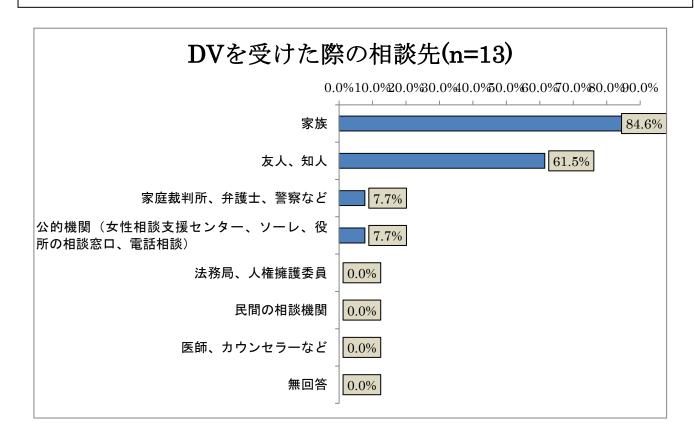


DV をした経験に関する問いでは、DV をした経験あり、と答えた回答者は、男性が 4.4%、女性が 2.8% となり、男女間で大きな差異は見られなかった。

問 15 あなたは、DV を受けた事を誰かに相談しましたか。

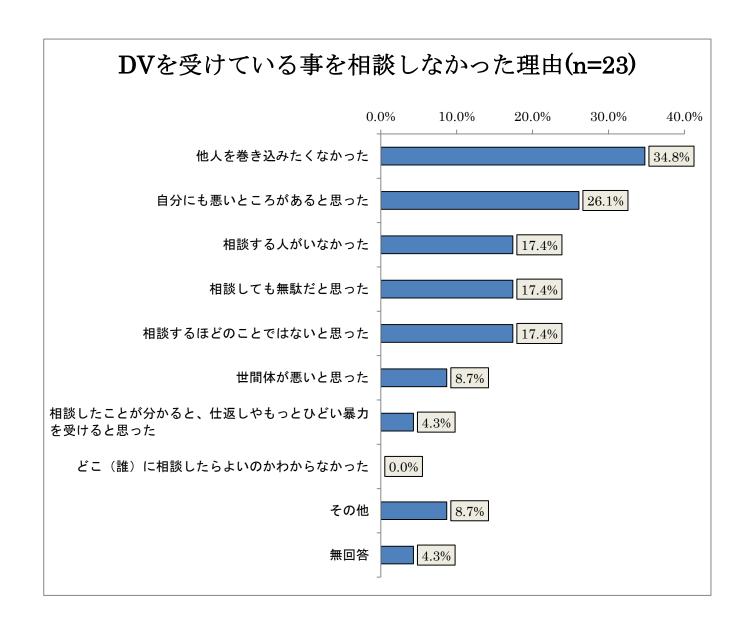


問 16 あなたはどこ(誰)に相談しましたか。(複数可)



DV を受けた経験があると答えた回答者に向けて、DV を受けた際に相談したか、という問いでは、「相談した」と答えた回答者の割合は 36.1%であった。

また、その相談先については、「家族」が最も多く、これに続く「友人、知人」を合わせた身近な人への相談がほとんどであり、相談所等の公的な機関へ相談したケースは少なかったことが分かる。



問15で「相談しなかった」と答えた回答者に、相談しなかった理由を回答してもらったところ、最も多かったのは「他人を巻き込みたくなかった」(34.8%)であった。続いて、「自分にも悪いところがあると思った」が26.1%、「相談する人がいなかった」「相談しても無駄だと思った」「相談するほどのことではないと思った」が17.4%となっている。「世間体が悪いと思った」(8.7%)「相談したことが分かると、仕返しやもっとひどい暴力を受けると思った」(4.3%)は比較的少なく、「どこ(誰)に相談したらよいのか分からなかった」は0%であった。

間 18

男女共同参画についてのご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

【20代】

・男女を平等にすることが男女共同参画社会の実現につながるというのは違うのではないか。男女それぞれのサポートがあってこそ、共同できるのではないか。異なるものを、完全に平等にすることはできないため、少しアンケートの内容に違和感があり、意見を述べさせて頂いた。

【30代】

- ・意識を変えることができるように周囲に働きかけたいと思う。
- ・本アンケートの内容とは直接関係ありませんが、返信用封筒のサイズが小さすぎます。もう少し回答者の立場を踏まえたアンケートをして頂くことを望みます。
- ・今の女性は、男女平等をはきちがえて女性という立場を利用して意見を押し付けたりしている。男性の意識だけでなく女性もしっかり学ぶべき。
- ・何年も前から「男女平等」と耳にはしますが、実際目にするのは、政治や社会では男性が優遇されている事が多い気がします。やっと女性を起用すると声に出してテレビで言われるのもほんの最近の事で……。

女性が社会にもっと進出すると今までよりさらに良い社会になるのでは!女性は気配りとアイデアの宝庫だと私は思います。子育てや介護等で仕事に就けず家庭にこもる方も多いと思うので、その方々がワクワクするようなリフレッシュできるような活動がもっとあれば良いと思います。

- ・女性から男性への DV に関しては、扱ったり相談を受けたりする場所が無いように思います。元加 害者としてその点が非常に気になります。(ソーレ等でも、DV として取り上げられるのは男性から 女性に向けられたものばかりなので、余計に……)
- ・共働きの家庭が増えている中、まだまだ家事を手伝おうとしない男性、一部しただけで自分は手伝っていると全体の仕事量を理解していない男性が多いです。うちの夫も、仕事帰宅後、食事作りをするので子供をみててと言うのに、子供がママがいいと言ったからと結局私がごはんを作りながら足元で子供の絵本の読み聞かせをして、夫はソファでテレビを見ているといったことがよくあります。食事作りを代わるとか、他にすべきことを考えるとか、(洗濯物や食卓の準備)色々あるでしょと言うと「疲れてる」とか返事される。私が疲れていないとでも思っているのか?と思ってしまいますが、喧嘩をする体力もなく日々過ぎていきます。

それでも毎日定時に帰ってくるので、子供のお風呂とか子供の世話をしてくれる時もあり、助かっていますが、夫が残業で帰りが毎日 21 時以降になる家庭も多いと思います。そうなると完全に家事育児は女性がしないとまわらないんだろうなと思うと、先にも書いた育児休業の制度も含め会社の仕事のあり方が変わっていかないと、しんどいなと思います。

女性の多い職場は家庭を大事にしたい人も多く、お互い様という気持ちが強いせいか、休みの調節が取りやすかったり、残業が少ない職場も多いような気がしますが、やはり男性の多い職場に、男は仕事、という雰囲気が残っている気がします。仕事しか出来ない男はとっても役に立ちません。自分の子供は色々できるように育てないとな……と思います。

・今回のアンケートは、男女共同参画というよりも、とてもフェミニズムに偏った聞き方なので非常に答えにくい。女性の視点から考えても「?」となる問いがあり、もしこのアンケートの送付先が男性もあるのであれば、余計答えにくいし、わかりにくいと思う。決して中立な立場からの問いではない。

【40代】

- ・性別によって可能性を妨げられることはあってはならないが、自身の性別に誇りをもって"男らしく" すらしく"生きるという選択も当然あると思います。男性も女性も一人一人の生き方が尊重され、かつ誰かを犠牲にする事のない男女平等参画社会を目指して取り組んでもらいたいと思います。
- ・大臣のように、女性ポストが少ないから、女性を起用するのではなく、優秀な人が居たら、性別に 関わらずに起用しないと無意味で、それも男女差別が無くならないと思えます。
- ・私は、3年前まで高知市居住で、父親と同居の事情により、いの町(本籍はこちらです)へ転入しました。率直な実感としては、「男女間の格差差別」という問題よりも、むしろ郡部(山間、農村地域)特有の、「古い社会的通念やしきたり」といった点から生じる諸々の課題、改善すべき点の方が問題なのではないか、と思われます。(例えば、地域人口がもとから少ない故に、お互いの顔が近すぎて、かえってプライバシー(プライベート)が守られていない等)
- ・父子家庭への支援も母子家庭と等しくなる事を望みます。
- ・現在求職中ですが、求人の少なさに驚いています。又、思うに、力仕事や、PC など特殊なスキルがないとダメという内容があったり、男女でいうと女性は求人が少なめですね。

私は、一昨年難聴を患いました。手帳が貰えない見えない障害です。そういった中途半端なハンディをもつ者にも平等な求人が増えることを心から願います。下記の自分らしく輝けるフレーズのように、見えないハンディ保持の人々にも力を貸して頂けたらと思います。

※女性が仕事をすることについて

産休や育休の代替は別として、慣れたスタッフの方が相互に良いのではと思う。

【50代】

- ・男女が協力してする事は大切ですし、社会全体、人と人とが声を掛け合い、助け合い、相談し合い して人として近すぎず遠すぎず、住みやすいいの町にしていけたらいいかと。そして他県から、い の町は住みやすく、人が、空気が、自然がいいと思われる地域にしてほしいし、私達住民一人一人 も現実逃避しないで協力が必要。
- ・平等の意味を考える必要はないでしょうか。
- ・仕事におわれており、当該事項について考えた事は無かった。今後プライベートな時間が多く持て るようになれば、この様な事を考える余裕はできると考える。
- ・女性が社会や職場で活躍するためには、まず家庭での理解が必要でしょう。家事分担は、その一番 大きな要素だと思います。女性の活躍はそこから始まると言っても良いのではないでしょうか。
- ・女性の方の中に、他者よりも自らを必要以上に誇示し、弱者に対して自分を優位に立たせ、見下すような方も沢山います。特に、声高に"男女平等"と言ってる方に多く見えるのはどうしてでしょう。私は以前、シングルマザーになったことがあります。その時助けを求めて市役所で公的支援の相談に行き、女性の方の相談員に口に出すのも辛い言葉で罵られました。ですから、"ソーレ"とか支援とか参画事業とか、とても嘘っぽく聞こえてなりません。まずは弱者に優しい人間作りからですよ。高知の女はレベル低い!

- ・子供達の世代が安心して子育て、仕事両立できる地域になって欲しいです。 私達の世代や、上の世代の方が仕事と離れても健やかに心配なく過ごせるといいです。
- ・保育園、幼稚園とは別に地域に土日祝日に子供が遊べたり、世話をして頂ける施設を作って頂きたい。
- ・年を重ねて、自分が自分らしくいたいと思う。難しいけれど、家庭、職場での努力、地域へも目を 向けていきたい。
- ・50 代以下の世代に対して、男女共同参画も踏まえて、地域の"つながり・協力"といった、古き時代の"良き慣習"をもう一度育てるような取組みが必要では? 自分の住む地域や、人や自然を慈しむ心を育てる事が大切だと思う。
- ・私が若い頃に比べると、だいぶ男女共同参画が進んできたようには感じます。しかし、責任も男性 と同等になるということを、女性は自覚しなければならないと思います。まだまだ子育てや介護の 中心にいる女性達には、時として同等の責任は大変になる事もあろうかと……!?同等の責任と家 庭が両立できる社会が早く来るようにと思います。
- ・個人的な意見として、「その子らしく」の前に「男らしく、女らしく」は大切な事だと思う。「平等」ばかり言うと、ますます少子化になると思う。女性が自立しすぎて出産をリスクだとしか見れなくなり、結婚も自由を求めすぎて遠のいていくのでは?男女とは生まれた時点で役割が違っているし、身体の作りも違う。ホルモンも違う。まず男の子は男らしく女性を守れるよう育て、女の子は女性らしさやマナーを身に着けた上、「その子らしさ」を育てるべきと思う。人間形成もできてないのに、主張しすぎる人、何でも「個性」の一言で済ます今の風潮も良くないと思う。子供が幼い時は、母親が働かなくても良い位、男性の賃金(手当)を上げるなどして、お互いの役割分担をして、生活できればいいのではないでしょうか。
- ・男女共同参画は職場や公共サービスでも思想が浸透しつつあるのではないでしょうか。しかし、高齢者において、育った環境などから昔の慣習を引きずっておられる方があるように思われます。場がある時に男女共同参画についてのお話をする機会があればと考えます。子供の頃からの学校教育においても教えが必要かと思います。
- ・質問が(5)の場合、女性の場合だけですか。偏っているように感じました。
- ・(問 12 の地域ボランティアに関連して) ボランティアに頼るのは限界があるのではないでしょうか。皆自分の生活があると思うので、自分 の暮らしが充実してはじめてできる事です。
- ・ネオリベラリズムを踏まえて、個性や能力が発揮できるよう、ワークライフバランス (WLB)の支援が必要だと感じる。
- ・私は特に無いけれども、親等を見ていると、個人の会社に勤めていると、いい様にされると言うか、 小さな会社程、退職の時等、本当にいい加減だと思う。特に母親等、女性は、社長の意見一つで最 低の扱いを受けていると思う。それに比べ、ごく一部の公務員等、本当に優遇されすぎなのではな いのかと思う。民間の女性の犠牲の上で成り立っているのでは。会社の為、家族の為、とんでもな い税金の為に。特に高知県は、民間の女性を喰い物にしていると思う。先ずは、公務員がさぼる事 無くしっかりと働き、税金を下げて、高知県の女性達を楽にさせてあげるべきではないか!

- ・男女は元々、体のしくみ、物事のとらえ方等違いがある。不平等な面があるのは当然致し方ないので、それぞれが持ち味を生かせる様な共同参画が必要であると思います。
- ・夫の残業をなるべく減らしてくれたら、もっと妻が働きに出やすいと思います。
- ・今の私は、人が苦手で、人の中に入っていけません。頑張っている方に申し訳ないです。役に立てなくてすみません。

夫とは会話もなく、言いたい事も何も言えません。

・男女間の格差は、すべて平等にはならず、女性優遇されている会社・職種もある。平等は、賃金、 就業時間、また家庭環境を考慮した就業が必要だと思う。

【60代】

- ・町内で働く企業を作ってほしい。若い人達が町へ行かなくても町内で働いていける町づくりを。県内でもいの町が一番税金が高いと言われています。若い人達は税金が高いので市内の方へ転出して親の元へは帰りたがりません。緑もあり、水も美しい住みやすいいの町を、若い人達が住みやすい地域にしてほしいと願っています。
- ・結婚して 40 年あまり、女性上位ですごしました。これが人生が楽しく、会社も女性上位です。これ が人生の秘訣。子供も、私をまねしています。
- ・急激な少子高齢化が進み、人が減り、街の活力が失われています。就業、継業で若者を街に呼び込む施策が必要となっています。仁淀川を主体とした観光業は、やり方によりまだまだ伸び、雇用貢献できると思います。男女共、元気な高齢者がたくさんいます。社会貢献のために、その元気な高齢者の力を借りるためにも、又、学生が高齢者の知恵を学ぶ為にも、高齢者と若者が集う場所の設置の必要性を痛感します。
- ・性別、年代、職業等を区分したアンケートを実施すべきではないでしょうか。答方に困る問がありました。
- ・出産、生理等女性の特徴を男性が正しく理解して、人権的に平等と認識して、思いやりの心を持って付き合う事が大切。
- ・男女共同参画は、男性と女性の同質化ではない。男女には性差があり、女性を男性と同じような条件で働かせることには、母性保護の観点からも問題であると考える。
- ・全ての分野で男女の比率が同等になって初めて共同参画のスタートとなるのではないか。役所の女性の登用も多くする事。議員の女性参加を多くする事。保育士、看護士等の男性の増加などが必要です。
- ・アンケート調査数の公表。 アンケート結果についての対策の公表。(町として何を実施するのか?)
- ・男性、女性とも、私は幼少期の時から親の人間としての平等性を生活の中で教えてもらってきました。現在の社会が、個人中心(自己中心)な社会の様に感じます。私たちの子供の時の隣り近所が助け合い、又、厳しい叱咤も愛情をもって大人がしっかり子供に対し他人の子でも叱る事をしていました。そんな社会に少しでも変わる事が大切な時代ではないでしょうか。
- ・地域に限らず、日本全体が男女、職業、障害等で、いじめや差別のない暮らしに困らない社会であってほしい。

若者が希望を持って働き、結婚、出産、子育て、福祉の充実、老後も安心して暮らせる社会でない と、これからの日本は発展しないし希望が持てない。

この取り組みに期待します。住みよいいの町になってほしいです。

- ・現在、神谷保育園、小、中学校に通っている子供達の人数の少ないことを大変危惧しています。本来神谷に通うはずの子供達が神谷を通り越して伊野小学校へ通っています。勝賀瀬小学校が廃校となり、その時、伊野小学校へ通う事となり、それ以来親が希望すれば両親と祖父母が一緒に生活していても自由に行ける様になったとの事。おかげで地区の運動会等に支障が出て大変困っております。こんな事でいいのでしょうか。保育園、小学校、中学校全員いったい何人いると思いますか?
- ・昔と違って、男女共同が出来ていると思う。でも家庭の中では、むしろ女性の方が男性より偉い立場にあったりして、男性の方が尻に敷かれている家庭が多くなっているのでは。男は力があっても女性に対して弱く、女性の言いなりになっている傾向!!
- ・私は男性と仕事したことがないので……。よく分かりません。
- ・地区の集会の時、机、椅子の片づけなど男性女性に関わらずお互いにして気持ちよく終わる事が出来、良い事だと思っています。

家庭内でも、お互いに自分の考えを尊重したいものです。

- ・取組みに難しい事と、易しい事がはっきりしている。前進できにくい方が多くあり、あまり関わりたくないような面の自分がいることに気付かされた。
- ・以前に比べて結婚、妊娠後の同じ職場への復帰が増えていると思いますが、大きい会社以外の小規模会社や、個人会社では、本人は戻りたいのに職場復帰が難しい状況です。やはり職場への啓発や、はたらきかけの方が優先だと思います。
- ・女性が社会で男女共同参画に参加するための勉強会が少ない頃でしたので、年をとってきても勉強 の機会が必要です。年代の違う者が話し合いの機会があれば良いです。

【70代】

- ・自分たちの若い頃と現在とでは何につき異なっている。やはり、今現在に合った「家庭」「社会」「地域」を推進してもらいたい。
- ・警察は相談しても事件が起きる迄相手にしてくれませんでした。もっとなんとかしてほしいです。
- ・地区の会議や、集会で十分配慮できるよう、区長や地区の役員の研修会等実施してはどうでしょう?
- ・この種の調査は町内の企業等の調査してはと思う。パートの労働力が比較的多いので、認識度調査をするべきと思う。(サニーマート、製紙関係)
- ・男女共同参画にしても、行政も昔も今も同じやり方でなく、部落での集会所でも行政が見合った施 策の改善策 (トイレ、環境等)がない。高齢者が多くなってるなか、男女が集まりやすく話をしや すい場に環境を含めて改善してほしい。
- ・高齢者になりましたので意見はありません。
- ・この程度のアンケートでは、意義のある回答が得られるとは思われない。
- ・この様な問題は、その地域、又は国の文化水準だと思う。男女間の問題だけでなく、他民族や国に 対しどの様に接するかにもかかっていると思う。
- ・計画立案、行動等をやることが、時々では浸透しない。行政主義では発展しない!!後押しするような体制を検討してやってこそ効果あるものになると思います。アンケートをみて実行することのみです。

- ・女性自身がもっと積極的に前に出ることが大切では。 ※地域活動(地区総会、役員会等々)については男性(夫)まかせ。(冠婚葬祭等も含む) ※政治活動についても女性は政党関係者が多い。町議20名で16(男性)対4(女性では2名は政党者)もっと女性の候補者が必要。(町長選も同様)
- ・理想は男女平等ですが、実際は難しい。体力が違うので同じ事はできない。 ※女性が仕事をすることについて

子供ができたら辞め、成長してからまた就く、という形が好ましいが、再就職が難しい。

- ・役所の子育て支援や、高齢者への配慮、年月と共に充実してきていると感謝しております。 地域のボランティア活動等も、男女の差なく皆で協力し支え合って、見ているだけで恐縮ですが、 毎日が平和で幸福な時が流れているように感じます。
- ・自分も出来る事は頑張るようにしている(食改、婦人会、老人クラブ、ボランティア(弁当)など) けれど、どうしても家族がほっておけなくてあきらめる事がある。 それぞれの性格だと思います。

本当に住みやすい世の中って一体何でしょうね……?

- ・1.ぜひ女性の町長が誕生してほしい。
 - 2.女性の町会議員が増えますように。
- ・男女平等と言われながらも、まず先頭に立つ者(国でいえば首相)の意識が変わらなければいつまでたっても個々の人権が尊重される時代が来るのは難しいのでは。特に年配の女の人は、いつまでたっても男性優位の考えが抜けないように思います。

また、女性も女性という立場を利用し、甘えていてはいけないのでは。

今法律で一番おかしいと思うのは、医学的科学的分野で著しい進歩を遂げてきているにもかかわらず、女性は離婚して半年は結婚できない馬鹿げた法律だと思います。

- ・男女共同参画問題は、大切なことですが、その前に男女ともに家庭を大切に、子供達を大切に育て る社会であることを願っています。
- ・男女、夫婦仲良く話し合って分担して日々、楽しく暮らすのが理想ですが、現実は難しいです。 今現在は男女平等であり、自分自身の意見を通すのが多いです。
- ・申し訳ありません。70歳以上の高齢者の一人暮らしのため、この問題よりもっと一人暮らしの深刻 さを考えてます。

人選誤りかも。参考にならなくてすみません。

- ・女だから男だからと普段意識しない。自分でできることは何でもまずやってみる。特別に考えることはないと思いますが……。
 - ※女性が仕事をすることについて

最低小学校卒業するまでは家庭で責任もって育てるべき。

₩ 集計結果

〔数表〕

問 1 あなたは次の分野において男女が平等だとおもいますか。 $A\sim H$ の項目ごとに、あなたのお気持ちに最も近いと思われる番号に 1 つだけ選んで \bigcirc 印をつけてください。

		4.			Α.	家庭生	活					B.I	睵場生	活					C.地	域社会	の中					D.I	2分の	場		
		サンプル	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	半	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	计	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
総合	実数 %	411 100.0%	1.0%	_	147 35.8%		37 9.0%	39 9.5%	1.5%	1.0%	29 7 1%	133 32.4%	119 29.0%	42 10.2%	54 13.1%	30 7.3%	0.7%	20	148 36.0%	147 35.8%	24 5.8%	58 14.1%	2.7%	0.2%	1.0%	68 16.5%	172 41.8%	110	46 11.2%	10 2.4%
	男性	180	1.0%	10	35.8% 77	37.0% 62	9.0%	9.5%	1.5%	1.0%	14	32.4% 65	29.0% 50	10.2%	16	13	0.7%	4.9%		30.8% 51	10	27	2.7%	0.2%	1.0%	41	41.8% 70	42	11.2%	2.4% 4
性 別	女性	212	1	16	66		24	21 2	2	1	15	64	64	21	35 3	12	0	11	66 7	91	12	28	4	0	_	21 6	96	65 3	24	5
	無回答 20代	19 27	0	0	4 8			4	0	0	0 2	4 11	5 8	2	3	1	0	0	_	5 7	0	3 6	0	1	0	3	6 11	3 8	3 4	0
	30代	32	0	3	17	9		2	0	1	9	8	9	0	4	1	1	4		10	-	6	0	0	-	2	15	11	4	0
年	40代	64	2	4	22		8	7	0	1	6	23	17	9	8	0	1	3		25	8	7	0	0		10	19	25	9	0
年代	50代 60代	90 122	1	3 9	26 43		13 11	11 9	3	1	6 3	40 40	18 43	13 11	11 14	10	0	3 5	29 50	35 45	5 6	17 10	6	0	_	9 26	43 57	27 25	10 8	5
	70代	65	0	3	27	27	2	5	1	0	2		22	5	12	15	0	2		21	3	11	4	0	-	12	25	13	9	5
	無回答	11	0	_	4	_		1	0	0	1	2	2	2	2	2	0	0	_	4		1	0	0	_	6	2	1	2	0
	農林漁業 商エサービス業自営	19 44	0	0	7 20		0 6	2	0	1	0	7 20	5 11	1 4	4 5	0	0	2 4	5 20	8 11	3	2 5	1	0	_	4 13	8 14	3 12	3	0
	常勤職	125	2	8	48		15	6	0	2	20	59	30	12	2	0	1	6		46	7	15	0	0	_	21	55	36	11	0
職	非常勤	69	0	6	19		6	10	0	0	5	33	17	5	8	1	0	5	_	24	6	11	1	0		9	26	24	10	0
業別	その他の有職	8	0	1	1	4	1	1	0	1	0		4	0	1	0	1	0		1	0	3	0	0	_	1	5	1	1	0
73.3	専業主婦・主夫 無 職	48 92	0	4	12 39	24 31	2	12	4	0	1 2	10	16 34	10	17 16	20	0	1	10 37	23 34	2 4	11 9	7	0	_	19	22 41	17 15	6 10	7
	その他	5	1	1	1	2	0	0	0	0	0		2	1	1	1	1	1	1	0	0	2	0	1	0	0	1	1	2	0
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0	1	0	0
配偶	いる	307	3	23	113	126	25	13	4	3	23	99	86	33	40	23	1	11	111	118	19	41	6	0	2	54	131	83	31	6
者	いない	99	1	3	31	25	12	25	2	1	6	32	32	9	13	6	2	9	34	28	5	17	4	1	2	13	39	27	14	3
共	共働き	146	2	_	55		14	8	2	2	16	66	37	13	9	3	1	7	55	49		22	1	0	_	24	58	46	15	1
働	共働きでない その他	90 48	1	10 4	32 16	35 26	9	3 1	n	1 0	3 4	22 7	23 18	13 5	22 8	6	0	2		40 16	7	14 2	1	0	_	12 14	44 23	24 8	9	0
き	無回答	23	0	1	10		_	1	2	0	0	-	8	2	1	8	0	0	_	13		3	2	0		4	6	5	4	4
E	旧伊野町内	96	2	_	36			7	1	1	8		35	12	10		1	3	_	35		13	0	0	_	12	44	31	9	0
居住	枝川・天王 その他の地域	190 71	0	13	67 26	64 29	22 3	21 7	2	2 0	13 4	67 21	56 20	18 7	23 12	11 7	0	9	_	66 28	14 2	27 9	5 3	0	_	33 13	78 31	54 13	19 9	3
地域	吾北地区	40	1	2	13		4	2	1	1	3	13	7	4	7	5	1	1	12	15	3	6	2	1	0	7	15	9	6	2
別	本川地区	10	0		3	5	0	1	0	0	0		1	1	2	1	0	0	4	3	1	1	1	0	-	2	2	3	2	1
	無回答	4	0	_			0	1	0	0	1	2	0				0	_	1	0		2	0	0	_	1	2	0	1	0
世	単身世帯 夫婦のみ	36 130	1	10	8 58		12	10 5	2	0 1	1 5	13 39	15 39	4 15	1 17	14	0	4 2		13 43	8	3 19	6	0	_	7 29	17 60	10 25	9	6
帯	親と子ども	193	2	14	65	_		18	2	2	21	64	50	19	28	9	1	11		68		29	1	0		23	75	63	29	1
構成	三世代以上同居	37	0	1	11	19	3	2	- 1	0	1	14	11	4	5	2	0	3	7	21	2	3	1	0		6	17	10	3	1
別	その他	13	1	0	5		3	2	0	1	1	3	3	0	3	2	2	0		1	0	4	1	1	0	3	2	2	4	1
同	無回答 乳幼児がいる	30	0 1	0 5		_	0	2 1	0	0	0 5		13	0 2	0	2	0	0 2		11	2	0	1	0	_	0 2	1 17	0 9	0	1
。居	高齢者がいる	103	1	4	32		13	7	1	2	5		32	15	12	6	1	4		44	7	14	2	0		15	39	31	15	1
谷家 按	両方いる	8	0		4	1	1	2	0	0	1	1	3	1	2	0	0	2	_	3		1	0	0	0	1	2	3	2	0
) 族	該当するものはいな 無回答	243 27	2 0	15 2	93 11		23 0	24 5	3	2 0	18 0		63 8	24 0	34	13	2 0	11	94	83 6	14 1	35 6	4	1 0	2 0	46 4	103 11	64 3	24 4	3 5
نـــا	無凹合	21	U			ď	U	Ð		U	U	/	ď	U	3	9	U		9	0		0	4	U	U	4	- 11	3	4	J

		E.=	学校教	育					F.法律	や制度	度面で	;			G.社	会通;	念∙慣習	引・しき	たり				H.4	社会全	:体		_
女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	中鄉	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
0	10		28	14	66	16	1		142	121	32	71	13	1	1.50/		220	63	10.7%	12	1	15		219	47		13
0.0%	2.4%	67.4% 113	6.8% 17	3.4% 7	29	3.9% 7	0.2%		34.5% 69	29.4% 45	7.8% 12	17.3% 30	3.2%	0.2%	1.5% 4	15.8% 31	53.5% 92	15.3% 26	10.7% 21	2.9%	0.2%	3.6%	17.8% 37	53.3% 85	11.4%		3.2% 5
0		152 12	10	5 2		8	0	_	67 6	74 2	17 3	36 5	6	0	2	29 5	120 8	35 2	20 3	6	0			123 11	25 2		7
0	2	14	3	1	7	0	0	4	9	7	1	6	0	0	1	4	12	5	5	0	0	2	7	12	2	4	
0		22 43	3	0 7	6 10	0	1 0		6 21	11 16	9	6 13	0		0		18 36	10	5 6	0	1 0	3		12 35	8		0
0		60	7	2	15	2	0		24	30	7	20	1	0	2	6	52	19	10	1	0		9	55	11	11	2
0		89	6	2	17	7	0		51	39	6	14	6		2	23	68	16	9	4	0			71	14	_	
0		42 7	5 2	1	10 1	0	0		25 6	16 2	6 1	10	6		0	14	29 5	8 1	7	6 0	0		15 5	29 5	7 1		
0			1	0		0	0	_	7	4	1	6			1			1	_	0	0	_		12	1		
0		28 93	2 8	3 5	10 15	1	0	_	16 42	11 41	4 11	9 18	0	0	1	13 16	17 76	5 21	7 10	0	0		10 22	19 70	5 15		
0	2	42	5	4	15	1	0	6	23	21	5	13	1	0	2	11	31	13	10	2	0	3	14	30	9	- 11	2
0		5 32	0	1 0	1 10	0 2	1 0		3 14	1 20	1 4	1 8	1	0	0		33	9	2	1	1 0			4 35	6		
0	2	59	8	1	12	10	0	4	37	22	6	14	9	0	0	20	44	- 11	9	8	0	0		47	10	6	8
0		3	1	0		0	0		0	1	0	2 0	0	0	0		2 0	1	1 0	0	0		1	0	0	1 0	0
0		226	18	10		11	0		116	94	21	45	8	_	3		182	46	23	6	0			178	35		
0	6	47	10	4	28	4	1	8	25	25	11	25	4	1	3	16	37	17	20	5	1	7	18	40	12	16	5
0		109	9	6		2	0		48	42	11	26	1	0	3		83	25	15	1	0		23	78	16		
0		65 40	3	<u>4</u> 0		4 0	0	_	37 26	30 11	8 2	11 5	1	0	0		55 31	17 4	5 1	2 0	0	_	12 12	58 28	12 6	_	
0		12	2	0		5	0		5	11	0	3	3	0	0		13	0		3	0			14	1	0	3
0		65 135	8 14	6 5	14 24	1	1 0		31 69	31 59	11 16	15 28	1 5	0	1 2	15 29	56 100	13 36	9 18	1 5	1 0			55 103	13 25		
0		46	3	2	13	5	0	_	23	19	4	15	4	0	2		36	7	11	3	0	_		34	5		
0		23 7	3	1 0	10	2	0		14 5	10	1	9	2	0	0		24 4	3	4	2	0			23 4	2		2
0		1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0		0	0	0		
0			5	2		1	0	_	15		4	_		0	2			2	8	1	0			16	2		
0			6 14	9	15 35	4	0		55 59	39 59	6 20	18 37	5 4	0	1	23 27	75 100	20 37	6 25	5 3	0		24 28	78 101	15 28		
0	2	25	2	1	5	2	0	4	10	15	1	6		0	2	6	23	2	3	1	0	3	8	21	1	2	2
0		5 0	0	0	_	1	0		3 0	0	1 0	4 1	_	0	0			0	0	1	0			1	0		
0	1	22	2	2	2	1	0	3	10	12	3	1	1	0	1	4	16	5	3	1	0	2	5	13	6	3	1
0		62 5	8 2	5 0		4 0	1 0		31 2	29 2	9	22	0		2 0		59 4	15 1	12	1	1 0			54 3	12 1	11 3	
0	5	173	15	7	37	6	0	17	94	69	17	42	4	0	3	42	130	38	25	5	0	8	45	136	24	25	5
0	0	15	1	0	6	5	0	1	5	9	2	4	6	0	0	5	11	4	2	5	0	0	4	13	4	1	5

問 2 bx coz sec ct x con the content of the con

		サ		A.生活	舌費をた	かせぐ			B.掃隙	҈∗洗濯	▶炊事			C.家	計の領	管理	
		ンプル	主に妻が行う	夫婦が共同で行う	主に夫が行う	その他の人	以	主に妻が行う	夫婦が共同で行う	主に夫が行う	その他の人		主に妻が行う	夫婦が共同で行う	主に夫が行う	その他の人	無回答
総	実数	307	11	134				233		7	3	2	196	74	35	1	1
合	% 	100.0%		43.7%	45.6%	3.3%	3.9%	75.9%		2.3%	1.0%	0.7%	63.8%	24.1%	11.4%	0.3%	0.3%
性	男性	133	4	59	60	3	7	93	33	6	1	0	82	34	16	1	0
別	女性 無回答	160 0	7 0	69 0	73 0	6 0	5 0	127 0	28 0	1 0	2 0	2 0	105 0	35 0	19 0	0	
	無凹台 20代	8	0	3		0	0			0	0	0	4	2	2	0	
	30代	21	0	10	11	0	0	15		0	0	0	14	3	4	0	
	30代 40代	44	1	22	21	0	0	34	10		0	0	0	16	3	0	
年代	50代	74	2	41	29	2	0	58	15	1	0	0	44	20	8	1	
16	60代	101	4	34	55	3	5	76	16	4	3	2	63	27	11	0	0
	70代	50	4	22	13	5	6	38	10	2	0	0	38	6	6	0	
	無回答	9	0	2	6	0	1	8		0	0	0	8	0	1	0	
	農林漁業	17	0	12	5	0	0				1	0	10	5	2	0	
	商工サービス業自営	32	2	15	15	0	0	28	3	1	0	0	22	7	2	1	0
u+h	常勤職	93	4	57	32	0	0	63	29	1	0	0	58	27	7	0	
職業	非常勤 その他の有職	46 4	2 0	19 1	23 3	2 0	0	34 4	9	0	0	1 0	28 4	10 0	8	0	
別	専業主婦・主夫	46	1	5	39	0	1	37	7	1	1	0	29	7	10	0	-
	無職	67	2	25	21	8	11	49	14	3	0	1	43	18	6	0	
	その他	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
	無回答	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
配偶者	いる	146	1	101	44	0	0	107	35	3	1	0	86	43	15	1	1
的一个	いない	90	10	7	67	2	4	70	14	2	2	2	62	15	13	0	0
共	共働き	48	0	19	18	8	3		9	2	0	0	31	11	6	0	
働	共働きでない	23	0	7	11	0	5	19	4	0	0	0	17	5	1	0	0
き	その他	65	4		28	3		43				0			7	1	0
	無回答	142	5	56	73	5	3		33	4		1		31	13	0	
居	旧伊野町内 枝川・天王	59 30	2 0	28 18	26 10	1	2 1	51 28	7 1	0	1 0	0 1	30 19	18 9	11 2	0	
住	その他の地域	8	0	6	10	0		7	1	0	0	0	5		0	0	
地域	吾北地区	3	0	1	2	0		1	_	0	0	0		0	2	0	
域別	本川地区	6	0	1	4	1	0	-			0	0	3		1	0	
נינ <i>ו</i>	無回答	127	4	50	60	4	9	99	21	4	1	2	85	27	15	0	
ر	単身世帯	145	6	66	66	5	2	101	41	2	1	0	92	37	15	1	0
世	夫婦のみ	26	1	16	8	0	1	24		1		0	14		3	0	1
帯構	親と子ども	3	0	1	2	0						0	2		1	0	
成	三世代以上同居	0	0	0	0						0	0	0		0	0	
別	その他	27	0	11	15	1	0	18		0	0	0	17	6	4	0	
同	無回答 乳幼児がいる	68 8	4 0	38 2	25 5	1	0	59 7	1		1 0	0	39 7	16 0	11 1	1 0	
上居	名列児がいる 高齢者がいる	184	6	73		7	8			5	2	2	119	47	18	0	
容別族	両方いる	20	1	10	5	0				1	0	0	14		1	0	0
が族	該当するものはいない	243	2	15	93	83	3	2	18		63	24	2	11	94	83	14
内	無回答	27	0	2	11	8	1	0	0	7	8	0	0	1	9	6	1

	[D.育児				E.ſ	ì護∙看	護		F.子と	き き き き	教育に の決り		諸問	G.家	庭内	の諸問	題の流	夬定
主に妻が行う	夫婦が共同で行う	主に夫が行う	その色の人	無回始	主に妻が行う	夫婦が共同で行う	主に夫が行う	その他の人		主に妻が行う	夫婦が共同で行う	主に夫が行う	その他の人	#回物	主に妻が行う	夫婦が共同で行う	主に夫が行う	その他の人	無回答
148	78	0	17	64	127	91	4	24	61	44	177	16	13	57	33	213	55	2	4
48.2%	25.4%	0.0%	5.5%	20.9%	41.4%	29.6%	1.3%	7.8%	19.9%	14.3%	57.7%	5.2%	4.2%	18.6%	10.8%	69.4%	17.9%	0.7%	1.3%
59	34	0	9	31	43	44	3	12	31	9	80	7	10	27	9	93	27	0	4
82	42	0	7	29	79	43	1	11	26	31	93	8	2	26	22	111	25	2	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0
1	6	0	0	1	2	2	0	2	2	1	6	0	0	1	1	6	1	0	0
8 29	10 12	0	0	2 3	7 21	11 13	0 1	1 2	2 7	<u>4</u> 11	15 28	0 2	0	2 3	3 7	18 31	0 6	0	0
44	23	0	3	4	35	26	1	8	4	11	51	6	4	2	4	50	18	1	1
46	17	0	7	31	44	26	1	9	21	12	54	5	4	26	12	71	17	0	1
17	10	0	5	18	17	12	1	2	18	5	21	2	4	18	6	32	10	1	1
3	0	0	1	5	1	1	0	0	7	0	2	1	1	5	0	5	3	0	1
9	2	0	0	6	9	3	0	2	3	1	9	2	0	5	0		5	0	0
16	9	0	2	5	9	17	0	3	3	4	20	1	2	5	1	23	8	0	0
51	27	0	3	12	43	28	1	7	14	15	62	5	4	7	9	70	12	0	2
23	14	0	3	6	22	15	0	4	5	11	27	1	2	5	8	33	5	0	0
2	0	0	0	2	2	0	0	0	2	1	1	0	0	2	1	1	2	0	0
22	13	0	2	9	20	11	1	3	11	8	25	3	0	10	5	30	10	1	0
25	12	0	7	23	21	17	2	5	22	4	32	4	5	22	8	43	13	1	2
0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
76 45	42 21	0	7 3	21 21	63 40	52 18	1	10	20 21	25 14	91 53	7 4	5	18 17	12 13	108 59	25 14	0 1	3
23	11	0	6	8	16	18	2 1	9 5	8	14 5	26	5	2 4	8	4		12	1	0
4	4	0	1	14	8	3	0	0	12	0	7	0	2	14	4	15	4	0	0
31	14	0	4	16	28	15	2	4	16	11	32	1	5	16	6		13	0	2
71	36	0	8	27	55	50	1	11	25		83	11	6	23	15		21	2	0
29	12	0	3	15	24	18	0	4	13	7	36	3	1	12	8	38	12	0	1
15	9	0	1	5	17	5	0	3	5		18	1	1	5	3	19	7	0	1
2	4	0	1	1	3	1	1	2	1	2	5	0	0	1	1	6	1	0	0
0	3	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3	0	0	0	0		1		0
4	1	0	0	1	4	0	0	0	2	1	4	0	0	1	1	3	1	0	1
54	28	0	8	37	50	30	3	8	36		66	7	6	35	14		27	0	3
66	48	0	8	23	56	53	1	13	22	21	91	7	6	20	14		18	1	0
22 2	0 1	0	0	3 0	15 2	7 1	0	3 0	1 0	6 3	16 0	2 0	0	1 0	3 1	14 1	9		0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0		0		0
15	11	0	1	0	10	11	0	3	3		19	0		0	4		2	0	0
34	9	0	4	21	33	21	0	5	9		33	4		17	9		19		0
3	4	0	1	0	3	2	0	1	2	2	4	0		0	2	4	1	1	0
90	49	0	10	35	75	52	4	14	39	21	111	12	8	32	14	_	30		4
6	5	0	1	8	6	5	0	1	8	_	10	0	0	8	4	13	3	0	0
1	2	46	103	64	0	5	173	15	7	0	17	94	69	17	0	3	42	130	38
0	0	4	11	3	0	0	15	1	0	0	1	5	9	2	0	0	5	11	4

		サンプル	サークル活動 スポーツ・学習・文化などの	動も会・婦人会・老人会などの活も会・婦人会・老人会などの活ります。	町の開催するイベント	どの活動福祉・ボランティア・NPOな	関する活動健康づくり・食生活改善などに	題に関する活動自然保護・公害防止など環境問	どの公的活動国・県・町の審議会や委員会な	防災・防犯などの活動	参加していない	無回答
総合	実数	411	60	181	72	36	36	11	17		156	3
	% 思 <i>性</i>	100.0%	14.6%	44.0%	17.5%	8.8%	8.8%	2.7%	4.1%		38.0%	
性	男性 女性	180 212	27 31	86 90	26 44	12 22	8 27	8	8	47 29	69 77	1 2
別	無回答	19	2	5	2	22	1	0	3	4	10	
	20代	27	5	3	7	1	0	0				
	30代	32	5	10	8	2	1	0	0		13	
Æ	40代	64	8	26	9	2	4	1	0		27	0
年 代	50代	90	7	42	16	8	3	3	3	9	38	1
16	60代	122	21	64	20	14	17	4	10	33	41	0
	70代	65	13	32	11	9	10	3	3	19	18	
	無回答	11	1	4	1	0	1	0	1	2	4	
	農林漁業	19	4	12	5		5	2	2		2	
	商エサービス業自営	44	1	20	4	3	2	2	4	10	19	
	常勤職	125	11	50	20	8	1	3	2		52	
職 業 別	非常勤	69	12	24	14	5	7	1	3		29	
業	その他の有職	8	4	6	4	1	1	0			1	0
別	専業主婦·主夫	48	8	26	10	5	12	0		4	16	
	無職	92	18	42	12	11	8	3	5		34	0
	その他	5	2	1	3	0	0	0	0		2	
	無回答	1	0	0	0		0	0	0			0
配偶者	い る いない	307	45	159	55	29	30	10			95	2
	共働き	99 146	14 16	21 74	16 31	7 13	6 9	1 5	9	9 35	58 43	
共	共働さでない	90	10		9			2				
割	その他	48	18	24	10	8		2	3			
き	無回答	23	1	11	5	2	3	1	0		9	
	旧伊野町内	96	16	39	14		7	3			41	
居	枝川•天王	190	27	80	28	13	20	4	7		77	1
住 地	その他の地域	71	8	32	13	8	2	4	4	22	22	2
地域	吾北地区	40	7	23	12	7	6	2	3	15	12	
別	本川地区	10	2	4	4	1	1	0	0	4	3	
<i>,</i> ,,	無回答	4	0	3	1	0	0	0	0	1	1	_
##	単身世帯	36	7	14	7	3	2	1	1		18	
出出	夫婦のみ	130	25	67	25	14	21	7	7	34	36	
世 帯 構	親と子ども	193	25	81	34	34	10	4	9	39	76	
成	三世代以上同居	37	2	17	4	4	3	0	0	5		
別	その他	13	1	2	2	0	0	0			10	
	無回答	2	0	0	0		0	0				
同日	乳幼児がいる 高齢者がいる	30 103	4 15	15 39	5 20	0 2	1 10	3			10 44	
容容	^{高断有がいる} 両方いる	8	0	39	<u>20</u> 1	0	0	0		2	44	0
容別族	該当するものはいない	243	36	113	42	17	21	8		50	86	
内	無回答	27	5	11	4	5	4	0				

問 4 あなたの住んでいる地域での様々な活動において、男女共同参画を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○印 3 つまで)

		サンプル	に参加すること男性も女性も積極的に地域活動	極的に登用すること 地域活動のリーダー に女性を積	の講習かいなどを開催すること女性のリーダーを養成するため	まいよう活動の時間帯を工夫すまいよう活動の時間帯を工夫すること	といての情報提供を充実するこか域活動やボランティア活動に	充実すること 慣習を改めるための啓発活動を地域に根付いている社会通念や	族の理解と協力を得ること	その他	わからない	無回答
総	実数	411	186	51	35	212	154	50	122	6		
合	%	100.0%	45.3%	12.4%	8.5%	51.6%	37.5%	12.2%	29.7%	1.5%		
性	男性	180	76	33	14	89	63	22	48	1		
別	女性	212	99	16	19	112	81	27	70			
	無回答	19	11	2	2	11	10	1	4	0		
	20代	27	8	1	1		10	4	6			
	30代	32	10	3	3		9	3	11	1		
年	40代	64	23	5	7	32	23	9	15	1		
年 代	50代	90	33	6	6	49	32	11	29	2		
	60代 70代	122 65	68 39	25	12 5	63 30	50 27	15	38 20	1	9 11	
	無回答	11	5 5	8		5	3	8	3	0		
	農林漁業	19	14	4	0		<u> </u>	3				
	辰 <u>杯</u> 温未 商エサービス業自営	44	17	4	6	17	11	5	9	2		
	常勤職	125	53	12	12	69	43	12	31	0		
職	非常勤	69	33	8	5	39	23	15	24	1		
業	ターฅ動 その他の有職	8	3	1	1	2	5	0		1		
別	専業主婦・主夫	48	15	7	3	22	25	6	13	0		
	無職	92	50	15	8		39	9	27	2		-
	その他	5	1	0	0	3	2	0	3			
	無回答	1	0	0	0	0	1	0	1	0		
≖¬ /⊞ ±∠	いる	307	154	45	26	160	116		93			3
配偶者	いない	99	31	6	9	49	37	8	26			2
- 11	共働き	146	72	18	14	75	46	26	42	2	18	
共 働	共働きでない	90	41	15	8	45	38	10	28	0	11	0
声き	その他	48	28	9	3		26	5				
·	無回答	23	13	3	1	13	6	1	12	0	3	
	旧伊野町内	96	42	17	8		41	10		1		
居 住	枝川·天王	190	74	23	21	92	80	18	57	3		
地	その他の地域	71	35	8	5	37	20	15	15			
域	吾北地区	40	27	3	1	20	11	3	20	0		
別	本川地区	10	5	0	0		1	4	7	0		
	無回答	4	3	0	0		10	0				
世	単身世帯 夫婦のみ	36 130	15 65	4 24	5 10	20 58	12 58	4 13	11 40	2		
帯構	親と子ども	193	89	22	17	108	71	27	56			
構	税とするも 三世代以上同居	37	14	1	3	22	12	6	13			-
成	その他	13	3	0	0		1	0		1		-
別	無回答	2	0	0	0		0	0		0		
同	乳幼児がいる	30	12	4	1		11	6				
。 房居	高齢者がいる	103	44	9	7	53	34	11	35			
公家	両方いる	8	1	0	2	6	1	0	2	0	1	0
容別 別族·	該当するものはいない	243	116	33	23	124	99	31	68	4		2
内	無回答	27	13	5	2	13	9	2	7	0	6	C

問 5

		サンプル	必要がある	どちらかといえば必要がある	どちらかといえば必要がない	必要ない	わからない	無回答
総	実数	411	217	133	21	17	18	5
合	%	100.0%	52.8%	32.4%	5.1%	4.1%	4.4%	1.2%
性	男性	180	100	48	10	11	8	3
別	女性	212	106	82	11	5	7	1
,,,	無回答	19	11	3	0	1	3	1
	20代	27	12	10	1	1	3	0
	30代	32	16	12	2	1	1	0
年	40代	64	37	18	4	2	3	0
代	50代	90	46	33	2	4	3	2
	60代	122	72	35	7	5	3	0
	70代 無回答	65 11	28	22 3	5	3 1	5	2
	無凹台 農林漁業		6	3 7	0		0	1
	展外温来 商エサービス業自営	19 44	10 18	15	2	<u>0</u> 5	3	0 1
	常勤職	125	66	43	5	6	5	0
職	非常勤	69	40	18	5	1	4	1
業	その他の有職	8	3	4	1	0	0	0
別	専業主婦・主夫	48	29	16	1	0	2	0
	無職	92	49	28	5	4	3	3
	その他	5	1	2	0	1	1	0
	無回答	1	1	0	0	0	0	0
≖1/⊞ 4 ×	いる	307	162	101	16	15	10	3
配偶者	いない	99	51	32	5	2	8	1
++	共働き	146	77	44	9	10	5	1
共 働	共働きでない	90	43	38	2	2	4	1
き	その他	48	32	12	4	0	0	0
	無回答	23	10	7	1	3	1	1
居	旧伊野町内	96	52	33	3	3	4	
住	枝川・天王	190	99	63	11	10	6	1
地	その他の地域	71	38	22	4	2 1	4	1
域	吾北地区 本川地区	40 10	19 8	13 1	2 0	0	4 0	1
別	無回答	4	1	1	1	1	0	0
	<u>無四台</u> 単身世帯	36	21	11	2	1	1	0
世	夫婦のみ	130	70	38	8	7	6	1
帯	親と子ども	193	98	68	9	9	6	3
構 成	三世代以上同居	37	22	12	1	0	1	1
別	その他	13	5	3	1	0	4	0
71.1	無回答	2	1	1	0	0	0	0
同	乳幼児がいる	30	15	10	1	2	1	1
容家	高齢者がいる	103	55	37	3	2	5	1
浴家 別族	両方いる	8	5	1	1	0	1	0
~ " 族	該当するものはいない 無回答	243 27	131 11	77 8	15 1	10 3	9	1 2

<次の問6は、問5で1または2と答えた方のみお答えください。>

問 6

防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何ですか。(○印2つまで)

		サンプル	衣室・防犯対策等) 避難所の設備(男女トイレ・更	ることのことである。ことのことでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	サポート体、高齢者、	入ることされ、対策に男女両方の害対策本部に男女がとも	入ることとの対象である。 、防災計画に男女両方の視災会議に男女がともに参画	の視点が入ることともに参画し、計画に男害復旧・復興対策計画に	、災害時に支給する際の的施設の備蓄品のニー ズ	被災者に対する相談体制	その他	無回答
総	実数	350	275	117	118	37	40	41	32	19	0	
	%	100.0%	78.6%	33.4%	33.7%	10.6%	11.4%	11.7%	9.1%	5.4%	0.0%	
	男性	148	113	59	45	15		23	10	6	0	
딘	女性	188	151	55		22	20	17	21	11	0	_
	無回答	14	11	3		0		1	1	2	0	
	20代	22	18	6		3			2	0	0	
	30代	28	24	10	6	2	5	2	3	2	0	
年	40代	55	43	14	28	5	5	6	3	3	0	
	50代	79	60	27	30	8	8	11	6	5	0	_
	60代	107	85	41	29	9	11	17	12	3	0	_
	70代	50	39	16	14	7	8	4	5	5	0	
	無回答	9	6	3		3	0	0	1	1	0	
	農林漁業	17	13	8					1	1	0	_
	商工サービス業自営	33	29	10		3	2	4	4	1	0	
	常勤職 非常勤	109	84	36	44	12	10	13	4	5	0	_
		58	41	20	20	8	6 1	8	5	3	0	
未別	その他の有職 専業主婦・主夫	7 45	6 35	3 11	0 13	0 4	10	2 6	2 6	0 4	0	
	無職							7				
	無 	77	63	28 1		6 0	8		9	5 0	0	
	無回答	3 1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
	いる	263	207	90		28		37	24	16	0	
	いない	83	67	26	30	8		4	8	3	0	
	共働き	121	99	43	47	9		16	8	4	0	
共	共働きでない	81	59	24		10		17	9	8	0	
1剉	その他	44	36			6		_				
	無回答	17	13	6	4	3	2	1	2	2	0	
	旧伊野町内	85	66	31	37	7	7	7	8	2	0	
居	枝川·天王	162	124	51	48	24	20	20	17	11	0	
	その他の地域	60	51	17	20	3		10	4	4	0	
地 + 	吾北地区	32	26	14		2	2	3	3	2	0	
	本川地区	9	7	4		0	2	1	0	0	0	
	無回答	2	1	0		1	0	0	0	0	0	
	単身世帯	32	27	12	10	0		0	4	3		
	夫婦のみ	108	87	40	28	11	13	16	10	6	0	
市井	親と子ども	166	129	48	60	21	19	24	14	7	0	
博 成	三世代以上同居	34	25	15	16	5	2	0	2	2	0	0
別	その他	8	5	2	3	0	1	1	2	1	0	
	無回答	2	2	0		0	0	0	0	0	0	
同	乳幼児がいる	25	20	8		2	5	3	1	1	0	
	高齢者がいる	92	67	33	34	10	10	7	13	7	0	
別家	両方いる	6	4	1	5	1	1	1	0	0	0	_
内	該当するものはいない 無回答	208 19	172 12	66 9	67 2	23 1	20 4	28 2	16 2	9	0	

問7 女性が仕事をする(会社などで働く)ことについて、どのように思いますか。

		サンプル	女性は仕事をしない方がよい	がよい、仕事をした方	した方がよい	けも るが	く方がよいともがは事に就どもが成長したら再び仕事に就子どもができたら辞めるが、子	その他	無回答
総	実数	411	2	6	24	200	127	43	9
合	%	100.0%	0.5%	1.5%	5.8%	48.7%	30.9%	10.5%	2.2%
性	男性	180	2	1	11	101	44	15	6
別	女性	212	0	3	12	93	74	27	3
,	無回答	19	0	2	1	6	9	1	0
	20代	27	0	1	4	10	8	4	0
	30代	32	0	0	2	13	10	7	0
年	40代	64	0	0	2	35	16	10	1
年 代	50代	90	1	0	7	43	30	9	0
	60代	122	0	2	6	59	41	10	4
	70代	65	0 1	2	3	36	19 3	3	2
	無回答	11	0		0	4			1
	農林漁業商エサービス業自営	19 44	1	1	4	8 20	7 15	2	1
	常勤職	125	0	0	10	69	31	12	3
職	非常勤	69	0	0	3	30	23	13	0
業	その他の有職	8	0	0	0	4	0	4	0
別	専業主婦・主夫	48	0	1	0	18	24	4	1
,	無職	92	1	3	5	48	26	6	3
	その他	5	0	0	2	2	1	0	0
	無回答	1	0	0	0	1	0	0	0
 	いる	307	2	4	13	144	103	35	6
配偶者	いない	99	0	2	11	53	23	7	3
ш	共働き	146	1	0	9	66	47	21	2
共 働	共働きでない	90	1	2	3	38	34	11	1
割き	その他	48	0	0	1	30	15	2	0
	無回答	23	0	2	0	10	7	1	3
居	旧伊野町内	96	0	2	6	46	26	13	3
住	枝川・天王	190	2	2	14	93	57	20	2
地	その他の地域	71	0	1	3	37	19	8	3
域	吾北地区 本川地区	40	0	1	0	19	19	1	0
別	本川地区 無回答	10	0	0	0 1	5	4	1	0
	無四合 単身世帯	4 36	0	0	3	0 18	2 11	0	1 1
世	半身世帝 夫婦のみ	130	2	3	4	64	44	ა 11	2
一 帯 構	親と子ども	193	0	1	13	100	58	18	3
構	三世代以上同居	37	0	1	4	11	11	9	1
成 別	その他	13	0	1	0	7	3	2	0
נימ	無回答	2	0	0	0	0	0	0	2
同	乳幼児がいる	30	0	0	0	13	10	6	1
	高齢者がいる	103	0	2	7	51	30	12	1
容居 別族	両方いる	8	0	0	1	3	3	0	1
"族	該当するものはいない	243	2	4	13	121	76	24	3
内	無回答	27	0	0	3	12	8	1	3

問8 あなたは、女性が仕事と家庭との両立をする上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。(複数可)

		サンプル	家事の負担がおおきいこと	いこと	きいこと高齢者等家族の世話の負担が大	ないこと 夫や子どもなどの理解や協力が	職場で男女差別があること	があること職場での結婚・出産退職の慣例	転勤や長時間労働	女性の就職先自体が少ないこと	分ではないこと保育所など子育て支援体制が十	利用しにくいこと老人福祉施設、介護サービスを	こと 育児・介護休業を利用しにくい	その他	支障となることは特にない	無回答
総	実数	411	237	151	130	111	45	50	117	62	166	49	103	8	16	12
合	% 田 <i>叶</i>	100.0%	57.7%	36.7%	31.6%	27.0%	10.9%	12.2%	28.5%	15.1%	40.4%	11.9%	25.1%	1.9%	3.9%	2.9%
性	男性 女性	180 212	94 128	63 80	49 75	36 70	22 19	27 23	47 67	23 34	74 88	18 28	45 53	2 6	9 5	/ 5
別	無回答	19	15	8	6	5	4	0	3	5	4	3		0	2	0
	20代	27	21	13	5	7	2	10	7	5	14	2	7	0	0	0
	30代	32	17	11	2	13	1	9	10	4	21	4	7	0	0	0
<i>/</i> -	40代	64	40	30	24	23	6	6	25	11	22	9	18	3	3	0
年 代	50代	90	51	37	40	30	15	13	33	14	40	10	25	3	4	1
16	60代	122	68	36	36	24	12	8	29	14	51	16	30	1	6	5
	70代	65	31	19	21	12	7	3	12	12	15	8	15	1	2	6
	無回答	11	9	5	2	2	2	1	1	2	3	0	1	0	1	0
	農林漁業	19	11	8	8	4	4	3	5	3	8			0	0	0
	商エサービス業自営	44	28	14	16	12	4	6	12	5	17	5	13	0	2	2
	常勤職	125	72	46	35	43	10	13	47	15	58	12	24	1	3	1
職	非常勤	69	44	26	23	22	9	13	15	14	24	12	23	3	5	1
業	その他の有職	8	6	3	0	2	0	1	3	1	4	0	2	1	0	0
別	専業主婦・主夫	48	32	18	16	15	5	6	15	9	20	3	12	2	0	1
	無職	92	40	32	30	11	12	6	19	13	32	11	23	1	6	7
	その他	5	3	4	2	1	1	2	1	0	3	1	2	0	0	0
	無回答	207	1 178	0 112	0	01	0	0	0	0	110	0	0	0 7	10	0
配偶者	<u>い る</u> いない	307 99	57	37	91 37	81 29	36 9	34 16	89 27	46 15	119 46	31 18	80 23	1	10 4	8 4
	共働き	146	88	54	38	48	18	20	44	20	61	16	38	2	3	2
共	共働さでない	90	55	33	29	22	6	9	31	14	31	8	21	4	4	1
働	その他	48	27	19	18	8	10	4	11	9	19	4	18	1	47	0
き	無回答	23	8	6	6	3	2	1	3	3	8	3	3	0	1	5
_	旧伊野町内	96	54	31	31	22	6	10	31	13	37	12	24	1	4	2
居	枝川·天王	190	111	75	50	54	20	27	56	27	90	6	54	3	8	5
住 地	その他の地域	71	36	18	25	22	9	8	19	11	22	8	12	2	4	4
+ at ;	吾北地区	40	29	21	19	9	9	5	8	7	13	10	9	1	0	0
別	本川地区	10	7	6		_	1	0	_	4	4				0	0
	無回答	4	0	0	0		0		1	0	0				0	1
世	単身世帯	36	22	14	12	10	3	4	9	6	17	6	14	0	0	1
帯	夫婦のみ	130	69	43	37	26	17	17	33	16	49	10	36	3	0	5
構	親と子ども	193	114	76	60	62	20	22	62	33	78	24	44	2	0	4
成	三世代以上同居	37	22	11	13	7	4	5	8	6	15	7	6	2	0	1
別	その他 無回答	13 2	9	6 1	7 1	5 1	1 0	0	5 0	1 0	7 0	2 0	3	1	0	0 1
同	無凹台 乳幼児がいる	30	20	11	2	11	2	4	11	9	13	0		1	0	1
工居	乳切児がいる 高齢者がいる	103	57	37	50	32	13	11	23	17	41	21	20	4	6	1
容家	両方いる	8	5	4	0	3	1	0	2	3	3	1	1	0	0	0
容別族	該当するものはいない	243	144	95	68	58	25	33	73	30	103	24	71	3	9	4
内	無回答	27	11	4	10	7	4	2	8	3	6	3	5	0	1	6

日常生活における	「仕事」	「家庭生活」	「プライベー	ト(趣味や学習	• 地域活動	・付き合いなど)	」のバラン	スについて、
優先度をお答えく	ださい。							

-m -t-)	
理想は 現実は	

理想

				生心						
		サンプル	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「 プライベー ト 」を優先	「仕事」と「家庭生活」をとも	ともに優先	ト」をともに優先「家庭生活」と「プライベー	ライベート 」を両立 「仕事」と「家庭生活」と「プ	無回答
総	実数	411	13	40	19	57	8	44	212	18
合	%	100.0%	3.2%	9.7%	4.6%	13.9%	1.9%	10.7%	51.6%	4.4%
	男性	180	9	16	10	33	5	17	84	6
性	女性	212	2	22	9	22	2	27	117	11
別	無回答	19	2	2	0	2	1	0	11	1
	20代	27	1	0	2	3	0	8	12	1
	30代	32	0	4	3	1	0	3	21	0
	40代	64	2	4	3	10	2	10	33	0
年 代	50代	90	1	7	5	9	1	6	59	2
代	60代	122	6	11	4	19	3	11	62	6
	70代	65	3	9	2	14	2	5	23	7
	無回答	11	0	5	0	1	0	1	2	2
	農林漁業	19	0	3	0	3	0	1	12	0
	展析温来 商エサービス業自営	44	4	3	2	5	1	5	24	0
	常勤職	125	2	13	8	22		15	60	1
Tt∔h							4			
職	非常勤	69	1	4	3	4	0	6	48	3
業	その他の有職	8	1	0	0	1	0	0	6	0
別	専業主婦·主夫	48	1	5	2	2	1	10	24	3
	無職	92	3	12	3	20	2	7	35	10
	その他	5	0	0	1	0	0	0	3	1
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0
配偶者	いる	307	6	32	8	45	5	33	166	12
出河石	いない	99	6	8	11	12	3	11	43	5
т.	共働き	146	3	13	5	19	1	14	89	5 2
共 働	共働きでない	90	1	9	2	10	2	16	47	3
割き	その他	48	1	6	0	12	1	3	23	2
	無回答	23	1	4	1	4	1	0	7	5
	旧伊野町内	96	2	4	7	20	1	12	47	3
居	枝川·天王	190	8	25	10	21	2	19	101	4
住地	その他の地域	71	0	6	1	11	1	10	34	8
地 域	吾北地区	40	1	4	1	4	4	1	23	2
別	本川地区	10	1	1	0	0	0	2	5	1
נינע	無回答	4	1	0	0	1	0	0	2	0
	単身世帯	36	3	5	4	6	1	5	11	1
世 帯 構	夫婦のみ	130	3	17	3	16	4	14	66	7
帯	親と子ども	193	5	17	9	32	2	19	106	3
構	三世代以上同居	37	0	1	2	2	0	6	22	4
成	<u> </u>	13	2	0	1	1	1	0	6	2
別	無回答	2	0	0	0	0	0	0	1	1
同	乳幼児がいる	30	0	4	3	3	0	4	14	2
ᅩ居	高齢者がいる	103	2	8	4	11	3	12	61	2
容居 別家	両方いる	8	0	1	0	3	0	0	4	2
別多族	該当するものはいない	243	8	25	10	35	4	27	124	10
内	無回答	27	3	23	2	5	1	1	9	4
F 7	짜뜨ㅁ	۷1	ა	2		J	1		9	4

現実

				現実						
		サンプル	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「 プライベー ト 」を優先	に優先 「仕事」と「家庭生活」をとも	ともに優先	ト」をともに優先「家庭生活」と「プライベー	ライベート 」を両立「仕事」と「家庭生活」と「プ	無回答
総	実数	411	201	52	2	79	8	21	23	25
合	%	100.0%	48.9%	12.7%	0.5%	19.2%	1.9%	5.1%	5.6%	6.1%
性	男性	180	117	12	2	22	6	4	7	10
別	女性	212	72	38	0	54	2	17	15	14
<i>"</i>	無回答	19	12	2	0	3	0	0	1	1
	20代	27	17	2	0	3	1	0	1	3
	30代	32	13	4	0	10	1	1	3	0
年	40代	64	34	6	0	15	4	3	2	0
年 代	50代	90	45	11	0	20	1	4	6	3 8 9
	60代 70代	122 65	70 16	14 15	0 2	18 12	0	7 5	5 5	8
	無回答	11	6	0	0	1	0	1	1	9
	農林漁業	19	11	3	0	4	0	0	0	2
	展析温来 商エサービス業自営	44	25	4	0	8	2	1	4	0
	常勤職	125	87	6	0	26	3	1	1	1
職	非常勤	69	24	6	0	20	1	3	10	5
業	その他の有職	8	6	0	0	1	0	0	1	0
別	専業主婦・主夫	48	8	16	0	7	0	10	3	4
	無職	92	36	17	2	13	2	6	3	13
	その他	5	3	0	0	0	0	0	1	1
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0
配偶者	いる	307	145	42	2	65	3	16	17	17
的两名	いない	99	54	10	0	13	5	5	6	6
#	共働き	146	79	10	0	38	2	4	10	6
共 働	共働きでない	90	36	19	1	13	0	9	6	
き	その他	48	24	5	0	11	1	3	1	3
	無回答	23	6	8	1	3	0	0	0	5
居	旧伊野町内	96	52	11	0	16	3	3	5	6
住	枝川・天王	190	96	28	1	31	3	11	14	6
地	その他の地域	71	30	7	1	16	0	6	3	8
域	吾北地区 本川地区	40	17	5	0	11	2	1	1	3
別	本川地区 毎回答	10	5	1	0	2	0	0	0	2
	無回答 単身世帯	4 36	1 22	0 2	0	3	0	0 4	0	1
世	半月世市 夫婦のみ	130	58	23	2	20	2	7	9	9
世帯	親と子ども	193	98	23	0	44	4	8	9	7
構	三世代以上同居	37	13	4	0	11	1	1	2	5
成 別	その他	13	9	0	0	1	0	1	0	2
נולל	無回答	2	1	0	0	0	0	0	0	1
同	乳幼児がいる	30	14	6	0	6	0	0	1	3
_宏 居	高齢者がいる	103	48	13	0	25	3	7	4	3
容別族	両方いる	8	3	1	0	2	1	0	1	0
が族	該当するものはいない	243	125	26	1	45	4	14	15	13
内	無回答	27	11	6	1	1	0	0	2	6

<次の問10は、現在働いている方のみお答えください>

問 10

あなたの職場では、男性と比べて女性に対し、仕事の内容や待遇面で次のようなことがあると思いますか。(複数可)

600		サンプル	採用の際に差がある	賃金に差がある	昇給、昇格に差がある	教育・研修の内容や機会に差がの	がある 女性には就けないポスト・職種	女性が参画できない傾向がある企画会議などの意思決定の場に	(性的嫌がらせ)があるセクシュアル・ハラスメント	り・掃除などが期待される女性のみにお茶汲み・コピー取る	補助的な仕事しかやらせていな 7	があるは一般に退職する慣習の	しない雰囲気がある 女性が長く就労することを歓迎	その他	特にない	無回答
総合	実数 %	265 100.0%	22 8.3%	51 19.2%	41 15.5%	2.3%	36 13.6%	5 1.9%	9 3.4%	20 7.5%	2.6%	2.3%		4.9%	111 41.9%	33 12.5%
	男性	125	12	23	20	2.3 ^{/0}	22	1.970		7.5%	2.0%			4.9%		
性	<u>为证</u> 女性	129	10	23	19	2	11	3		12	2	3		7	61	
別	無回答	11	0	5	2	0	3			1	1	0				
	20代	20	3	4	1										9	
	30代	29	2	3	5	1	2	0	_	1	1	4		0		
	40代	59	3	14	13	1	10			7	0	_		2		
年 代	50代	72	7	9	8	3	10	2		6	3			6		
代	60代	68	7	16	11	1	9	0		4		0		4		
	70代	12	0	4	3	0	1	0	_	0		0		0	_	
	無回答	5	0	1	0	0	3	0		0				0		
	農林漁業	19	0	1	1		1			0						
	商工サービス業自営	44	2	11	7	1	7			4	2	0		5		
	常勤職	125	13	27	22	3	21	3		10		3		1	61	3
職	非常勤	69	7	10	10	2	5		2	6	1	2		2		
業	その他の有職	8	0	2	1	0	2			0		1	_	1	0	_
別	専業主婦・主夫	0	0	0	0		0			0					_	
,,,,	無職	0	0	0	0		0			0						
	その他	0	0	0	0	0	0	0		0				0	_	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0		0				0		
	いる	192	17	34	29		27	3		17				8		
配偶者	いない	70	4	17	12	1	9	2		3		2				
	共働き	142	9	26	21	2	21			12				7	63	
共	共働きでない	40	7	7	8	2	4		1	4	2	0		1	15	
働	その他	7	1	1	0					-				0		
き	無回答	3	0	0	0	0	1	0		0				0		
	旧伊野町内	61	7	10	9		7			4				3		
居 住 地 域	枝川·天王	118	7	23	19	3	17	2		12		5		3		
住地	その他の地域	47	6	11	10	0	7	0		2	2		_	3		
地	吾北地区	29	0	5	3	0	4	1	1	1			0			
別	本川地区	6	1	1	0					1				1	4	
וינו	無回答	4	1	1	0	0	0	0		0	0	0	0			
,,,,	単身世帯	24	1	4	3	0	2	0	0	1	1	0	0	2	14	2
世帯構成	夫婦のみ	62	8	14	13	2	13	1	1	4	1	1	3	2	18	12
市	親と子ども	141	10	28	22	3	18	4	7	11	4	3	2	4	68	13
市	三世代以上同居	29	2	4	2	1	2	0	1	4	1	0				
別	その他	8	1	1	1	0	1	0		0				2		
	無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0
同	乳幼児がいる	24	2	3	2	1	3		1	2		2		0		
容居	高齢者がいる	71	5	15	12	3	10			6				6		
容別族	両方いる	6	2	0	1	0				1	0					
族	該当するものはいない	155	13	32	25	2	22	1	3	11	3			7		
内	無回答	9	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	(

問 11 男女が共に仕事と家庭を両立させていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇印 3 つまで)

		サンプル	めの施策を整える仕事と家庭生活を両立させるた	性を積極的に登用する行政の施策や方針決定の場へ女	いて十分話し合うこと 夫婦の間で家事などの分担につ	充実 育児・介護に関するサービスの	休業制度等) る男女平等の実現・育児・介護 企業などへの啓発(雇用におけ	・支援の充実産や子育て後の再就	崔) 「活動の推進(学習会・講座の開手女共同参画社会に関する啓発	を改めること 事中心という社会全体の仕	点に立った教育を進める育てなどについて男女平等の視子どもの頃から家事、介護、子	相談窓口等の充実	こと 母子・父子家庭への支援を行う	わからない	その他	無回答
総	実数	411	114	29	206	149		114		86	103	18	58	18	2	13
合	<u>%</u> 男性	100.0% 180	27.7% 54	7.1% 15	50.1% 75	36.3% 68	21.2% 37	27.7% 45		20.9%	25.1% 36	4.4% 6	14.1% 30	4.4% 11	0.5%	3.2%
性	为位 女性	212	54	14	120	75		65		39	62	11	27	7	2	9
別	無回答	19	6	0	11	6		4		4	5	1	1	0	0	1
	20代	27	11	1	17	7		8				1	3	1	0	0
	30代	32	6	4	20	7		10		9	10	2	5	1	0	0
年	40代	64		3		22		16		16	19	4	15	5	2	1
年 代	50代	90	24	5	43	37		26		23	24	3	11	4	0	1
	60代 70代	122	33	11	58	51	30	33 18		18	30	5	14	2	0	6 5
	無回答	65 11	19 4	3 2		21 4		3		12 2	14 0	3 0	8 2	4 1	0	
	農林漁業	19	4					6		6	5	1	2	0	0	
	商工サービス業自営	44	11	2	20	13		15		13	10	3	5	2	0	
	常勤職	125	36	9		51	20	28		31	35	6	20	4	0	2
職	非常勤	69	17	3	41	20		18		13	19	3	11	2	2	1
業	その他の有職	8	1	0	3	1	2	3	0	2	3	2	1	0	0	0
別	専業主婦・主夫	48	11	4	26	15		15		9	14	1	6	2	0	2
	無職	92	32	8		39		27	3	13	16	2	12	7	0	5
	その他	5	1	0		1		1		2	1	0	1	1	0	0
	無回答	1 307	1	0	101	0 107		1		0		0	0	0	0	0 8
配偶者	<u>い る</u> いない	99	88 26	20 9		40		90 23		73 13	78 25	11 7	37 20	8 10	2	
	共働き	146	41	11	85	49		43		36	38	7	17	1	1	3
共	共働きでない	90	28	4	38	27	31	26		21	26	2	9	6	1	0
働き	その他	48		3		22	13	16		12	13	1	7	0	0	0
	無回答	23	5	2	12	9		5	0	4	1	1	4	1	0	5
足	旧伊野町内	96										3		5		
居 住	枝川・天王	190	51	16		67	37	62	4	45	49	6	27	8	1	5
地	その他の地域	71	16	6		22		13		7	17	6	10	2	1	3
地域別	吾北地区 本川地区	40 10		3 0				11	2 0	7	13 1	3 0	6	3	0	1
別	本川地区 無回答	4						3 1			1	0	2 0	0	0	0
	単身世帯	36		2		16				8	9	2	8	2	0	1
世 帯 構	夫婦のみ	130		8		47		40		23	26	7	13	6	0	4
帯	親と子ども	193	58	18		69		55		47	58	6	28	6	1	4
成	三世代以上同居	37	9	1	16	14		11		6	7	1	5	2	1	1
別	その他	13						1		2	3	2	4	2	0	1
	無回答	2										0	0	0	0	
同日	乳幼児がいる 高齢者がいる	30 103	10 30	2 10		8 37		8 28		15 15	9 25	0 4	5 16	0 8	0 1	0 3
容家	同断名がいる 両方いる	8		10	5			1			3	1	2	0	0	0
容別族	該当するものはいない	243	67	15	123	95		70		50	63	13	31	8	1	5
内	無回答	27	5	1	13	8	7	7	1	4		0	4	2	0	5

問 12

育児・介護等の負担を地域社会全体として支援していくため町や地域がおこなっている取組について知っているものに 〇印をつけてください。(複数可)

		サンプル	子育て情報の提供 広報やホームページ掲載による	での健康相談の実施育児相談や乳幼児から高齢者ま	イサー ビス地域 ボランティアによるミニデ	パー "による子育て支援子育て応援団 " グーチョキ	障害者を対象とした相談支援	ひろば"の開所子育て支援センター"ぐりぐら	無回答
総	実数	411	189	151	120	43	47	190	75
合	%	100.0%	46.0%	36.7%	29.2%	10.5%	11.4%	46.2%	18.2%
性	男性	180	71	59	43	13	21	49	43
莂	女性	212	110	87	70	28	24	134	28
	無回答	19	8	5	7	2	2	7	4
	20代	27	8	4	4	2	2	13	6 7
	30代 40代	32 64	18 38	11 30	9 12	7 6	9	15 42	6
年	40代 50代	90	45	34	29	13	8	48	15
代	50代 60代	122	54	47	41	9	18	46	22
	70代	65	20	23	24	5	4	24	17
	無回答	11	6	2	1	1	2	2	2
	農林漁業	19	9	9	11	0	2	4	4
	商工サービス業自営	44	14	15	9	3	4	16	13
	常勤職	125	61	45	26	14	16	64	19
職	非常勤	69	44	35	25	11	9	37	7
業	その他の有職	8	1	0	4	1	1	3	2
別	専業主婦·主夫	48	23	13	13	5	4	35	6
	無職	92	35	32	32	8	9	30	21
	その他	5	2	2	0	1	2	1	2
	無回答	1	0	0	0	0	0	0	1
配偶者	いる	307	147	120	92	34	39	156	49
	いない	99	40	30	26	8	8	34	25
共	共働き 共働きでない	146	76 46	60 36	44 21	18 10	16 17	75 49	25
働	その他	90 48	23	21	19	6	6	21	11 5
き	無回答	23	23	3	8	0	0	11	8
	旧伊野町内	96	40	33	30	8	6	52	16
居	枝川·天王	190	104	76	46	26	30	90	29
住地	その他の地域	71	29	27	14	5	9	33	14
地 域	吾北地区	40	14	11	27	3	1	11	10
別	本川地区	10	2	4	1	1	1	3	4
733	無回答	4	0	0	2	0	0	1	2
##	単身世帯	36	16	15	12	3	3	13	6
世帯	夫婦のみ	130	51	42	39	8	12	53	27
構	親と子ども	193	102	75	56	26	25	101	30
成	三世代以上同居	37	20	17	10	4	5	21	5
別	その他	13	0	2	3	2	2	2	5
同	無回答 乳幼児がいる	30	0 17	0 11	0 10	0 8	0 4	0 19	2
早	乳切児がいる 高齢者がいる	103	39	36	31	7	13	39	26
容家別族	両方いる	8	7	5	31	2	13	7	0
別族	該当するものはいない	243	117	92	63	23	28	114	39
内	無回答	27	9	7	13	3	1	11	8

問 13 男女共同参画は、私たち一人ひとりの身近な課題です。まず自分にできることから始めることが大切ですが、あなたは何

ができますか。次の中でできると思うものに○印をつけてください。(複数可)

		サンプル	育児などの分担をする家庭では、家族みんなで家事・	「その子らしく」子育てをする「男らしく、女らしく」から	男女平等について取り組む学校では、PTAや保護者会で	浸透させ	に参画するよう取り組む慣習を見直し、男女平等に活動地域(自治会など)では、古い	共同参画について学ぶ	て理解を深める「ソー レ」などの事業に参加しこうち男女共同参画センター	動に参画するよう取り組む老人クラブでは、男女平等に活	その他	無回答
総合	<u>実数</u> %	411 100.0%	250 60.8%	124 30.2%	33 8.0%	66 16.1%	73 17.8%	65 15.8%	24 5.8%	33 8.0%	1.0%	46 11.2%
	男性	180	109	30.2% 41	0.0%	39		28	3.6%	10	1.0%	21
性	<u> </u>	212	133	76	18	26		34	14	18	0	20
別	無回答	19	8	7	1	1		3	2	5	0	5
	20代	27	22	9	1	4		4	1	0	0	1
	30代	32	21	14	3	0	2	6	4	0	0	1
年	40代	64	44	26	7	7		9	2	1	1	5
代	50代	90	52	30	6	20		18	6	2	1	6
	60代	122	70	28	10	26		19	7	16	1	14
	70代 無回答	65 11	34 7	14 3	6 0	8	16 1	7	3 1	13 1	1	17 2
	無凹台 農林漁業	19	9	6	0	1		5	1	5	1	2
	展析温来 商エサービス業自営	44	25	14	2	5		6	1	2	1	6
	常勤職	125	87	41	9	27	16	16	4	1	1	6
職	非常勤	69	41	23	8	12	11	12	8	5	1	7
業	その他の有職	8	2	2	0	1	1	2	0	3	0	1
別	専業主婦·主夫	48	32	17	5	5		7	3	6	0	7
	無職	92	49	21	8	15		16	7	11	0	16
	その他	5	4	0	1	0		1	0	0	0	1
	無回答 い る	1 307	1 196	0 97	0 26	0 46		0 47	0 17	0 23	0	0 34
配偶者	いない	99	51	24		20		18	7	10	ა 1	10
	共働き	146	95	53	15	21	19	19	8	5	3	14
共	共働きでない	90	57	20	5	18		14	8	11	0	11
働 き	その他	48	32	18	4	4		11	1	4	0	3
و	無回答	23	12	6	_	3		3	_	3		6
居	旧伊野町内	96	58	29	5	15		12	4	9	1	14
住	枝川・天王	190	120	58	17	34		35	18	10	0	15
地	その他の地域 吾北地区	71 40	46	18	6	8 7		6 10	0	6 8	1	10 5
域	台北地区 本川地区	10	18 8	13 4	3 1	1	0	2	2 0	0	2 0	<u>5</u>
別	無回答	4	0	2	1	1		0	0	0	0	1
	単身世帯	36	17	14	4	7	13	5	3	6	1	2
世 帯	夫婦のみ	130	74	24	11	23	22	23	10	17	3	20
帝 構	親と子ども	193	132	67	17	27	31	33	10	8	0	13
成	三世代以上同居	37	24	17	1	5		2	0	2	0	4
別	その他	13	3	2	0	4		2	1	0	0	5
	無回答	2	0	0	0	0		0	0	0	0	2
日、民	乳幼児がいる 高齢者がいる	30 103	20 61	12 27	5 6	2 17	5 17	5 18	3	2 6	0	1 15
容居 別族	両方いる	8	7	7	0	0		10	0	0	0	0
別族	該当するものはいない	243	149	71	18	42		40	16	21	4	22
内	無回答	27	13	7	4	5		1	2	4	0	8

問 14

あなたは、ドメスティック・バイオレンス(DV: 配偶者や恋人など親密な関係にあるパートナーからの暴力)について、経験したことはありますか。

 DV を受けたこと・・・①経験あり
 ②経験なし

 DV をしたこと・・・・①経験あり
 ②経験なし

合 % 100.0% 8.8% 86.1% 5.1% 3.4% 88.1% 性別 男性 180 5 157 18 8 159 年代 20代 212 28 181 3 6 186 無回答 19 3 16 0 0 17 女性 20代 27 2 23 2 0 24 30代 32 2 29 1 1 30 40代 64 7 55 2 4 57 40代 64 7 55 2 4 57 60代 122 10 107 5 1 109 70代 65 6 52 7 5 51 無回答 11 0 11 0 0 11 農林漁業 19 1 16 2 1 15 審勤職 125 10 110 5 4 14 業業 1 15 1 10 1 4 14 業業 1 1 1 1 4 2 4 1	無回答	DVをした経験なし	DVをした経験あり	無回答	DVを受けた経験なし	DVを受けた経験あり	サンプル		
世別		362							総
世別 女性 212 28 181 3 6 186 無回答 19 3 16 0 0 17 20代 27 2 23 2 0 24 30代 30代 32 2 29 1 1 3 30代 40代 64 7 55 2 4 57 55 0代 60代 90 9 77 4 3 80 60代 70代 65 6 52 7 5 5 1 109 70代 無回答 11 0 11 0 0 11 0 0 11		88.1%							合
別 接回答 19 3 16 0 0 17									性
年代	20 2								
年代									
年代									
# 代	3		-						
Figure 1	7	80			77	9	90		年
無回答 11 0 11 0 0 11	12	109	1		107	10	122		16
農林漁業 19 1 16 2 1 15 商工サービス業自営 44 7 35 2 2 38 常勤職 125 10 110 5 4 114 非常勤 69 4 62 3 2 62 その他の有職 8 2 6 0 0 7 事業主婦・主夫 48 6 41 1 1 42 無職 92 6 80 6 4 80 その他 5 0 4 1 0 4 無回答 1 0 0 1 0 0 配偶者 1 0 0 1 0 0 本働き 1 0 0 1 0 0 基 4 1 1 1 1 1 1 基 4 1 <td></td> <td>51</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>52</td> <td>6</td> <td>65</td> <td></td> <td></td>		51	5	7	52	6	65		
商工サービス業自営 44 7 35 2 2 38 常勤職 125 10 110 5 4 114 非常勤 69 4 62 3 2 62 その他の有職 8 2 6 0 0 7 専業主婦・主夫 48 6 41 1 1 42 無職 92 6 80 6 4 80 その他 5 0 4 1 0 0 1 0 0 配偶者 いる 307 25 270 12 10 276 水場 共働き 146 11 128 7 4 133 共働きでない 90 9 78 3 4 80 その他 48 2 45 1 2 44 無回答 23 3 19 1 0 19 居住 その他の地域 71 5 60 6 2 60 大側 本川地区 40 3 34 3 1 36 大の他の地域 71 5 60 6 2 60 本川地区	0	11							
開業 125 10 110 5 4 114 非常勤 69 4 62 3 2 62 その他の有職 8 2 6 0 0 7 専業主婦・主夫 48 6 41 1 1 4 無職 92 6 80 6 4 80 その他 5 0 4 1 0 0 無回答 1 0 0 1 0 0 配偶者 1 0 0 1 0 0 大働き 1 1 1 1 1 1 1 1 大働き 1		15						農林漁業	
職業 非常勤 69 4 62 3 2 62 その他の有職 8 2 6 0 0 7 専業主婦・主夫 48 6 41 1 1 42 無職 92 6 80 6 4 80 その他 5 0 4 1 0 4 無回答 1 0 0 1 0 0 配偶者 いる 307 25 270 12 10 276 いない 99 11 80 8 4 82 共働きでない 90 9 78 3 4 80 その他 48 2 45 1 2 44 無回答 23 3 19 1 0 19 居住 その他 48 2 45 1 2 4 87 技働き 10 5 89 2 4 87 技術 大の他の地域 71 5 60 6 2 60 大の他の地域 本川地区 40 3 34 3 1 36 本川地区 40 3									
業別 その他の有職 8 2 6 0 0 7 専業主婦・主夫 48 6 41 1 1 42 無職 92 6 80 6 4 80 その他 5 0 4 1 0 4 無回答 1 0 0 1 0 0 配偶者 いる 307 25 270 12 10 276 上 大働き 146 11 128 7 4 133 共働きでない 90 9 78 3 4 80 その他 48 2 45 1 2 44 無回答 23 3 19 1 0 19 居住 大の他 48 2 45 1 2 4 その他の地域 71 5 60 6 2 60 大の他の地域 71 5 60 6 2 60 本川地区 40 3 34 3 1 36 本川地区 40 3 34 3 1 36 本川地区 4 1 2 1									Π+h
別 専業主婦・主夫 48 6 41 1 1 42 無職 92 6 80 6 4 80 その他 5 0 4 1 0 4 無回答 1 0 0 1 0 0 配偶者 いる 307 25 270 12 10 276 いない 99 11 80 8 4 82 共働き 146 11 128 7 4 133 共働きでない 90 9 78 3 4 80 その他 48 2 45 1 2 44 無回答 23 3 19 1 0 19 日伊野町内 96 5 89 2 4 87 枝川・天王 190 22 160 8 7 168 その他の地域 71 5 60 6 2 60 五北地区 40 3 34 3 1 36 本川地区 10 0 9 1 0 9 無0答 4 1 2 1 0 9									取 業
無職 92 6 80 6 4 80 6 4 80 6 4 80 6 4 80 6 4 80 6 4 80 6 4 80 6 4 80 6 4 80 6 80 6	5								別
その他 無回答 5 0 4 1 0 4 無回答 1 0 0 1 0 0 配偶者 いる いない 99 11 80 8 4 82 共働き 146 11 128 7 4 133 共働きでない 90 9 78 3 4 80 その他 48 2 45 1 2 44 無回答 23 3 19 1 0 19 居住 地域 長付 5 89 2 4 87 技術 4 1 5 60 6 2 60 本川地区 40 3 34 3 1 36 本川地区 40 3 34 3 1 36 本川地区 10 0 9 1 0 9 無回答 4 1 2 1 0 9	8								
無回答 1 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		4							
共働き 共働き 146 11 128 7 4 133 共働きでない 90 9 78 3 4 80 その他 48 2 45 1 2 44 無回答 23 3 19 1 0 19 居住 技川・天王 190 22 160 8 7 168 その他の地域 71 5 60 6 2 60 吾北地区 40 3 34 3 1 36 本川地区 10 0 9 1 0 9 無回答 4 1 2 1 0 2	1	0	0	1	0	0	1		
共働き 146 11 128 7 4 133 共働きでない 90 9 78 3 4 80 その他 48 2 45 1 2 44 無回答 23 3 19 1 0 19 旧伊野町内 96 5 89 2 4 87 枝川・天王 190 22 160 8 7 168 その他の地域 71 5 60 6 2 60 事北地区 40 3 34 3 1 36 別 本川地区 10 0 9 1 0 9 無回答 4 1 2 1 0 2		276	10	12	270	25	307		和但 多
共働きでない 90 9 78 3 4 80 その他 48 2 45 1 2 44 無回答 23 3 19 1 0 19 1		82							
動きではい。 90 9 78 3 4 80 80 80 80 80 80 80									#
無回答 23 3 19 1 0 19 HI伊野町内 96 5 89 2 4 87 E 技川・天王 190 22 160 8 7 168 その他の地域 71 5 60 6 2 60 吾北地区 40 3 34 3 1 36 本川地区 10 0 9 1 0 9 無回答 4 1 2 1 0 2	6								働
旧伊野町内 96 5 89 2 4 87 190 160									き
居住地域別 枝川・天王 190 22 160 8 7 168 老の他の地域 71 5 60 6 2 60 吾北地区 40 3 34 3 1 36 本川地区 10 0 9 1 0 9 無回答 4 1 2 1 0 2			_						
任地域 その他の地域 71 5 60 6 2 60 事北地区 40 3 34 3 1 36 本川地区 10 0 9 1 0 9 無回答 4 1 2 1 0 2		168							居
地域 吾北地区 40 3 34 3 1 36 別 本川地区 10 0 9 1 0 9 無回答 4 1 2 1 0 2		60	2						住地
別 本川地区 10 0 9 1 0 9 無回答 4 1 2 1 0 2		36			34		40		地
無回答 4 1 2 1 0 2		9				0			
		2							
		28	2	3	27	6	36	単身世帯	₩
帯 知してにま 100 15 171 7 7 176		115							帯
構		175 33							構
10 10		10							成
//I		1							נה
同 乳幼児がいる 30 2 26 2 3 24	3	24	3	2		2	30	乳幼児がいる	
□ _宏 居 高齢者がいる 103 9 89 5 3 91	9	91		5					容居
_{- 見} 豕 辿力いる		8							別家
		219 20							族 内

<次の問 15 は、問 14 で「DV を受けた経験がある」と答えた方のみお答えください> 問 15

あなたは、DV を受けたことを誰かに相談しましたか。

		サンプル	相談した	相談しなかった	無回答
総	実数	36	13	23	0
合	%	100.0%	36.1%	63.9%	0.0%
性	男性	5	1	4	0
別	女性	28	12	16	0
71.1	無回答	3	0	3	0
	20代	2	0	2	0
	30代	2	0	2	0
年	40代	7	2	5	0
代	50代	9	3	6	0
16	60代	10	6	4	0
	70代	6	2	4	0
	無回答	0	0	0	0
	農林漁業	1	0	1	0
	商エサービス業自営	7	2	5	0
	常勤職	10	3	7	0
職	非常勤	4	2	2	0
業	その他の有職	2	0	2	0
別	専業主婦·主夫	6	3	3	0
	無職	6	3	3	0
	その他	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0
和伊夫	いる	25	11	14	0
配偶者	いない	11	2	9	0
	共働き	11	4	7	0
共働	共働きでない	9	5	4	0
働き	その他	2	1	1	0
_	無回答	3	1	2	0
	旧伊野町内	5	1	4	0
居住	枝川·天王	22	9	13	0
地	その他の地域	5	1	4	0
域	吾北地区	3	2	1	0
別	本川地区	0	0	0	0
	無回答	1	0	1	0
ш	単身世帯	6	1	5	0
<u>ш</u> ш	夫婦のみ	12	5	7	0
世帯構	親と子ども	15	5	10	0
成	三世代以上同居	2	1	1	0
別	その他	1	1	0	0
	無回答	0	0	0	0
同	乳幼児がいる	2	0	2	0
容居	高齢者がいる	9	5	4	0
別族	両方いる	0	0	0	0
,	該当するものはいない	20	7	13	0
	無回答	5	1	4	U

<次の問16は、問15で「相談した」と答えた方のみお答えください>

問 16

あなたはどこ(誰)に相談しましたか。(複数可)

		サンプル	家族	友人、知人	家庭裁判所、弁護士、警察など	口、電話相談)ター、ソーレ、役所の相談窓公的機関(女性相談支援セン	法務局、人権擁護委員	民間の相談機関	医師、カウンセラ― など	無回答
総	実数	13	11	8	1	1	0	0	0	0
合	% ##	100.0%	84.6%	61.5%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性	男性	1	1	1	1	0	0	0	0	0
性 別	女性 無回答	12 0	10 0	7 0	0		0	0	0	0
	無回台 20代	0	0	0	0		0	0	0	0
	30代	0	0	0	0		0	0	0	0
	40代	2	2	1	0		0	0	0	0
年	50代	3	2	2	0		0	0	0	0
代	60代	6	5	4	0		0	0	0	0
	70代	2	2	1	1	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0		0	0	0	0
	農林漁業	0	0	0	0		0	0	0	0
	商エサービス業自営	2	2	1	0	1	0	0	0	0
	常勤職	3	3	1	0	0	0	0	0	0
職	非常勤	2	1	2	0	0	0	0	0	0
職 業	その他の有職	0	0	0	0		0	0	0	0
別	専業主婦·主夫	3	2	2	0		0	0	0	0
	無職	3	3	2	1	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0		0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0		0	0	0	0
配偶者	いる	11	10	7	1		0	0	0	0
HO II-3 H	いない	2	1	1	0		0	0	0	0
共	共働き	4	4	3	0		0	0	0	0
働	共働きでない	5	4	3	0		0	0	0	0
き	その他 無回答	1	1	1	0		0	0	0	0
	無 <u>四</u> 各 旧伊野町内	1 1	1	0 1	1		0	0	0	0
居	枝川·天王	9	8	4	0		0	0	0	0
住	その他の地域	1	1	1	0		0	0	0	0
地	吾北地区	2	1	2	0		0	0	0	0
域 別	本川地区	0	0	0	0		0	0	0	0
ניל	無回答	0	0	0	0		0	0	0	0
	単身世帯	1	0	1	0		0	0	0	0
世帯	夫婦のみ	5	5	3	1		0	0	0	0
带 構	親と子ども	5	5	2	0	0	0	0	0	0
成	三世代以上同居	1	1	1	0	0	0	0	0	0
別	その他	1	0	1	0		0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0		0	0	0	0
同	乳幼児がいる	0	0	0	0		0	0	0	0
容別族	高齢者がいる	5	5	4	1	0	0	0	0	0
別家	両方いる	0	0	0	0		0	0	0	0
万	該当するものはいない 無回答	7 1	5	4 0	0		0	0	0 0	0

		サンプル	かわからなかったどこ(誰)に相談したらよいの	相談する人がいなかった	世間体が悪いと思った	相談しても無駄だと思った	と思ったしやもっとひどい暴力を受けるはいまっといい暴力を受ける。	人を巻き込みたくなかった	思った	思った相談するほどのことではないと	その他	無回答
総合	実数	23	0	4 7 49/	2			8				1 1000
	% 用 <i>性</i>	100.0%	0.0%	17.4%	8.7%	17.4%	4.3%	34.8%	26.1%	17.4%	8.7%	4.3%
性	男性 女性	4 16	0	0	1	0			1			<u>0</u> 1
別	女性 無回答		0	3 1	0			6 1	4 1		2	0
	無 <u>固合</u> 20代	3 2	0	0	0			1	0		0	0
	20代 30代	2	0	0	0			1	2			0
	30代 40代	5	0	1	1	0	1	1	0		2	0
年 代	50代	6	0	0	1	2		4	2		0	0
代	60代	4	0	1	0	0	0	1	1		0	1
	70代	4	0	2	0		0	0	-		0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	農林漁業	1	0	0	0				0		0	0
	展作点来 商工サービス業自営	5	0	1	1	0	0	3			0	0
	常勤職	7	0	1	1	1	1	3		1	0	0
础	非常勤	2	0	0	0			0			1	0
職 業	その他の有職	2	0	1	0		0	0		0	0	0
別	専業主婦・主夫	3	0	1	0		0	1	1		0	0
	無職	3	0	0	0		0	0		0	_	1
	その他	0	0	0	0			0				0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	いる	14	0	2	2			6			1	0
配偶者	いない	9	0	2	0	1		2	0		1	1
	共働き	7	0	1	1	1	0		3			0
共	共働きでない	4	0	0	1						1	0
働 き	その他	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
٠	無回答	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
	旧伊野町内	4	0	1	2	2		1	1	1	0	0
居	枝川·天王	13	0	2	0	2	0	7	5			1
住地	その他の地域	4	0	1	0			0				0
域	吾北地区	1	0	0	0			0				0
別	本川地区	0	0	0	0			0				0
	無回答	1	0	0	0				0	1	0	0
##	単身世帯	5	0	2	0			1	1	1	0	1
世 帯 構 成	夫婦のみ	7	0	2	1	1	0	3			0	0
構	親と子ども	10	0	0	1	1	1	4		3		0
	三世代以上同居	1	0	0	0			0				0
別	その他	0	0	0	0			0				0
	無回答	0	0	0	0			0	0			0
同日	乳幼児がいる	2	0	0	1			1			0	0
容贵	高齢者がいる	4	0	0	0		1	0		1 0	1	0 0
容居 別族	両方いる 該当するものはいない	0 13	0	3	1			5	3		1	1
内	無回答	4	0	1	0							0
<u>r</u> 3	까쁘ㅁ	4	ֹ		J						. 0	·

V 付録

〔調査票〕

アンケートへのご協力のお願い ~みんなの意見で住みよいいの町をつくろう~

いの町では、誰もが互いにやさしく自分らしく輝けるまちづくりのため、様々な取り 組みを行っています。

今回のアンケート調査は、男女共同参画社会などに関する町民の皆様の日ごろのお考えについてご意見をお聞きかせいただくことにより、<u>今後のまちづくりの計画に反映し</u>ようとするものです。

なお、このアンケートをお送りした皆様は、いの町の住民基本台帳に 登録されている20歳以上75歳以下の方から無作為(ランダム)に抽出した1,000名の 方々です。

お答えいただいた内容は今回の目的以外に使用することはありません。また、個人が特定されたり、個人の情報が漏れたりすることはありません。 結果につきましては集計後、いの町ホームページで公表予定です。是非 とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◆男女共同参画社会とは◆

男女が互いに人権を尊重しあい、性別にかかわりなく一人ひとりが 家庭・学校・職場・地域等で、個性や能力を十分に発揮することが できる社会のことです。

※ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒(切手不要) に入れて、平成27年12月15日までにポストに投函してください。

※このアンケートについてのお問い合わせ先

いの町総務課(担当:藤後)

電話:893-1113 FAX:892-0353



アンケート調査票

あなたご自身のことについてお聞きします。あてはまるものの番号に〇をつけてください。

性別	1. 男性 2. 女性	
年代	1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 7	O代以上
職業	1. 農·林·漁業	
	2. 商・エ・サービス・自営業	
	3. 常勤職(正社員、正職員など)	
	4. 非常勤(臨時、パート、アルバイトなど)	
	5. その他の有職(医師、弁護士、僧侶など)	
	6. 専業主婦・主夫	
	7. 無職(年金生活者など)	
	8. その他(ご記入ください:)	
配偶者の有無	1. あり 2. なし	
共働き別	1. 共働き 2. 共働きでない 3. その他	
地域別	伊野地区	
	1. 旧伊野町内 2. 枝川 3. 八田 4. 池ノ内	
	5. 川内 6. 神谷·中追·成山·小野 7. 三瀬	
	8. 天王	
	吾北地区	
	1. 清水 2. 上八川 3. 小川 4. 下八川	
	本川地区	
	1. 長沢 2. 大森 3. 寺川 4. 戸中	
	5. 越裏門 6. 下本川(高藪・脇ノ山・足谷・葛原・桑瀬・中野	JII)
世帯構成	1. 単身世帯 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子どもの世帯	
	4. 三世代以上同居 (二世代世帯)	
	5. その他(ご記入ください:)	
同居の家族	1. 乳幼児がいる 2. 高齢者がいる 3. 両方いる	
	4. どちらもいない	

1. 実生活での男女平等意識についておたずねします

問1 あなたは次の分野において男女が平等であると思いますか。A~Hの項目ごとに、あなたのお気持ちに最も近いと思われる番号に1つだけ選んで〇印をつけてください。

	女性の方 が非常に 優遇され ている	どちらか といえば 女性の ある れている	平等	どちられば 男性の遇さ れている れている	男性の方 が非常に 優遇され ている	わからな い
A. 家庭生活	1	2	3	4	5	6
B.職場生活	1	2	3	4	5	6
C.地域社会の中	1	2	3	4	5	6
D.政治の場	1	2	3	4	5	6
E. 学校教育	1	2	3	4	5	6
F.法律や制度面で	1	2	3	4	5	6
社会通念・慣 G 習・しきたり	1	2	3	4	5	6
H.社会全体	1	2	3	4	5	6

2. 家庭での役割分担についておたずねします

問2 あなたのご家庭では、次の役割を主にどなたがしていますか。A~Gの項目ごとに1つだけ選んで〇印をつけてください。

	主に妻が行う	夫婦が 共同で 行う	主に夫が行う	その他 の人
A.生活費をかせぐ	1	2	3	4
B.掃除·洗濯·炊事	1	2	3	4
C.家計の管理	1	2	3	4
D.育児	1	2	3	4
E.介護・看護	1	2	3	4
F.諸問題の決定	1	2	3	4
G. 家庭内の諸問題の決定	1	2	3	4

3. 地域活動についておたずねします

- 問3 あなたは次のような地域活動に参加していますか。(複数可)
 - 1 スポーツ・学習・文化などのサークル活動
 - 2 自治会・町内会・PTA・子ども会・婦人会・老人会などの活動
 - 3 町の開催するイベント
 - 4 福祉・ボランティア・NPOなどの活動
 - 5 健康づくり・食生活改善などに関する活動
 - 6 自然保護・公害防止など環境問題に関する活動
 - 7 国・県・町の審議会や委員会の委員などの公的活動
 - 8 防災・防犯などの活動
 - 9 参加していない
- **問4** あなたの住んでいる地域での様々な活動において、男女共同参画を積極的に 進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇印3つまで)
 - 1 男性も女性も積極的に地域活動に参加すること
 - 2 地域活動のリーダーに女性を積極的に登用すること
 - 3 女性のリーダーを養成するための講習会などを開催すること
 - 4 様々な立場の人達が参加しやすいよう活動の時間帯を工夫すること
 - 5 地域活動やボランティア活動についての情報提供を充実すること
 - 6 地域に根付いている社会通念や慣習を改めるための啓発活動を充実すること
 - 7 家族の理解と協力を得ること
 - 8 その他()
 - 9 わからない

4. 防災についておたずねします

- 問5 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。
 - 1 必要がある
 - 2 どちらかといえば必要がある
 - 3 どちらかといえば必要がない
 - 4 必要ない
 - 5 わからない

<次の問6は、問5で1または2と答えた方のみお答えください。>
問6 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何ですか。(〇印2つまで)

- 1 避難所の設備(男女トイレ・更衣室・防犯対策等)
- 2 避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女 両方の視点が入ること
- 3 災害時の救援医療体制(乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制)
- 4 災害対策本部に男女がともに配置され、対策に男女両方の視点が入ること
- 5 防災会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること
- 6 災害復旧・復興対策計画に男女がともに参画し、計画に男女両方の視点が入る こと
- 7 公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮
- 8 被災者に対する相談体制
- 9 その他()

5. 職業生活についておたずねします

問 7	女性が仕事をする	(会社などで働く)	ことについて、	どのように思います
	か。			

- 1 女性は仕事をしない方がよい
- 2 結婚するまでは、仕事をした方がよい
- 3 子どもができるまでは、仕事をした方がよい
- 4 子どもができても、ずっと仕事を続ける方がよい
- 5 子どもができたら辞めるが、子どもが成長したら再び仕事に就く方がよい
- 6 その他()
- 問8 あなたは、女性が仕事と家庭との両立をする上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。(複数可)
 - 1 家事の負担が大きいこと
 - 2 夫や子どもの世話の負担が大きいこと
 - 3 高齢者等家族の世話の負担が大きいこと
 - 4 夫や子どもなどの理解や協力がないこと
 - 5 職場で男女差別があること
 - 6 職場での結婚・出産退職の慣例があること
 - 7 転勤や長時間労働
 - 8 女性の就職先自体が少ないこと
 - 9 保育所など子育て支援体制が十分ではないこと
 - 10 老人福祉施設、介護サービスを利用しにくいこと
 - 11 育児・介護休業を利用しにくいこと
 - 12 その他()
 - 13 支障となることは特にない

問 9		常生活における、「仕事」「家庭生活」「プライベート(趣味や学習・地動・付き合いなど)」のバランスについて、優先度をお答えください。
	理想(現実は 見実は
	1	「仕事」を優先
	2	「家庭生活」を優先
	3	「プライベート」を優先
	4	「仕事」と「家庭生活」をともに優先
	5	「仕事」と「プライベート」をともに優先
	6	「家庭生活」と「プライベート」をともに優先
	7	「仕事」と「家庭生活」と「プライベート」を両立
	_	
問10		D問10は、 <u>現在働いている方のみ</u> お答えください> なたの職場では、男性と比べて女性に対し、仕事の内容や待遇面で次のよ
μјισ	_	ことがあると思いますか。(複数可)
	1	
	_	採用の際に差がある
	2	採用の際に差がある
	2 3	
	_	賃金に差がある
	3	賃金に差がある 昇給、昇格に差がある
	3	賃金に差がある 昇給、昇格に差がある 教育・研修の内容や機会に差がある
	3 4 5	賃金に差がある昇給、昇格に差がある教育・研修の内容や機会に差がある女性には就けないポスト・職種がある
	3 4 5 6	賃金に差がある 昇給、昇格に差がある 教育・研修の内容や機会に差がある 女性には就けないポスト・職種がある 企画会議などの意思決定の場に女性が参画できない傾向がある
	3 4 5 6 7	賃金に差がある 昇給、昇格に差がある 教育・研修の内容や機会に差がある 女性には就けないポスト・職種がある 企画会議などの意思決定の場に女性が参画できない傾向がある セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)がある
	3 4 5 6 7 8	賃金に差がある 昇給、昇格に差がある 教育・研修の内容や機会に差がある 女性には就けないポスト・職種がある 企画会議などの意思決定の場に女性が参画できない傾向がある セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)がある 女性のみにお茶汲み・コピー取り・掃除などが期待される
	3 4 5 6 7 8 9	賃金に差がある 昇給、昇格に差がある 教育・研修の内容や機会に差がある 女性には就けないポスト・職種がある 企画会議などの意思決定の場に女性が参画できない傾向がある セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)がある 女性のみにお茶汲み・コピー取り・掃除などが期待される 補助的な仕事しかやらせていない
	3 4 5 6 7 8 9 10	賃金に差がある 昇給、昇格に差がある 教育・研修の内容や機会に差がある 女性には就けないポスト・職種がある 企画会議などの意思決定の場に女性が参画できない傾向がある セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)がある 女性のみにお茶汲み・コピー取り・掃除などが期待される 補助的な仕事しかやらせていない 結婚や出産を機に退職する慣習がある
	3 4 5 6 7 8 9 10	賃金に差がある 昇給、昇格に差がある 教育・研修の内容や機会に差がある 女性には就けないポスト・職種がある 企画会議などの意思決定の場に女性が参画できない傾向がある セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)がある 女性のみにお茶汲み・コピー取り・掃除などが期待される 補助的な仕事しかやらせていない 結婚や出産を機に退職する慣習がある 女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある

6. 男女共同参画の推進についておたずねします

- 問11 男女が共に仕事と家庭を両立させていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇印3つまで)
 - 1 仕事と家庭生活を両立させるための施策を整える
 - 2 行政の施策や方針決定の場へ女性を積極的に登用する
 - 3 夫婦の間で家事などの分担について十分話し合うこと
 - 4 育児・介護に関するサービスの充実
 - 5 企業などへの啓発(雇用における男女平等の実現・育児・介護休業制度等)
 - 6 出産や子育て後の再就職の相談・支援の充実
 - 7 男女共同参画社会に関する啓発活動の推進(学習会・講座の開催)
 - 8 仕事中心という社会全体の仕組みを改めること
 - 子どもの頃から家事、介護、子育てなどについて男女平等の視点に立った 教育を進める

)

- 10 相談窓口等の充実
- 11 母子・父子家庭への支援を行うこと
- 12 わからない
- 13 その他(
- 問12 育児・介護等の負担を地域社会全体として支援していくため町や地域がおこなっている取組について知っているものに〇印をつけてください。(複数可)
 - 1 広報やホームページ掲載による子育て情報の提供
 - 2 育児相談や乳幼児から高齢者までの健康相談の実施
 - 3 地域ボランティアによるミニデイサービス
 - 4 子育て応援団 "グーチョキパー"による子育て支援
 - 5 障害者を対象とした相談支援
 - 6 子育て支援センター"ぐりぐらひろば"の開所
- 問13 男女共同参画は、私たち一人ひとりの身近な課題です。まず自分にできることから始めることが大切ですが、あなたは何ができますか。次の中でできると思うものに〇印をつけてください。(複数可)
 - 1 家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする
 - 2 「男らしく、女らしく」から「その子らしく」子育てをする
 - 3 学校では、PTAや保護者会で男女平等について取り組む
 - 4 職場で男女平等意識を浸透させる
 - 地域(自治会など)では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう 取り組む
 - 6 男女共同参画について学ぶ
 - 7 こうち男女共同参画センター「ソーレ」などの事業に参加して理解を深める
 - 8 老人クラブでは、男女平等に活動に参画するよう取り組む
 - 9 その他 (67)

7. パートナー(配偶者、恋人)に対する暴力についておたずねします

問14 あなたは、ドメスティック・バイオレンス(DV:配偶者や恋人など親密な関係にあるパートナーからの暴力)について、経験したことはありますか。

DVを受けたこと・・・①経験あり ②経験なし

DVをしたこと・・・・①経験あり ②経験なし

<次の問15は、問14で「DVを受けた経験がある」と答えた方のみお答えください> 問15 あなたは、DVを受けたことを誰かに相談しましたか。

- 1 相談した
- 2 相談しなかった

<次の問16は、問15で「相談した」と答えた方のみお答えください> 問16 あなたはどこ(誰)に相談しましたか。(複数可)

- 1 家族
- 2 友人、知人
- 3 家庭裁判所、弁護士、警察など
- 4 公的機関(女性相談支援センター、ソーレ、役所の相談窓口、電話相談)
- 5 法務局、人権擁護委員
- 6 民間の相談機関
- 7 医師、カウンセラーなど

<次の問17は、問15で「相談しなかった」と答えた方のみお答えください> 問17 あなたはなぜ相談しなかったのですか。(複数可)

- 1 どこ(誰)に相談したらよいのかわからなかった
- 2 相談する人がいなかった
- 3 世間体が悪いと思った
- 4 相談しても無駄だと思った
- 5 相談したことが分かると、仕返しやもっとひどい暴力を受けると思った
- 6 他人を巻き込みたくなかった
- 7 自分にも悪いところがあると思った
- 8 相談するほどのことではないと思った
- 9 その他()

問18	男女共同参画についてのご意見がございましたら、	ご自由にご記入ください

~ご協力ありがとうございました~

男女共同参画 に関する 言葉の説明

●男女共同参画社会

男女が互いに人権を尊重しあい、性別にかかわりなく一人ひとりが家庭・学校・職場・地域等で、個性や能力を十分に発揮することができる社会のことです。

●第3次いの町男女共同参画プラン

いの町の男女共同参画を推進することを目的に、平成26年3月に策定されたもの。「誰もが互いにやさしくそして自分らしく輝けるまちいの町」を基本理念として、4つの基本目標を定めています。